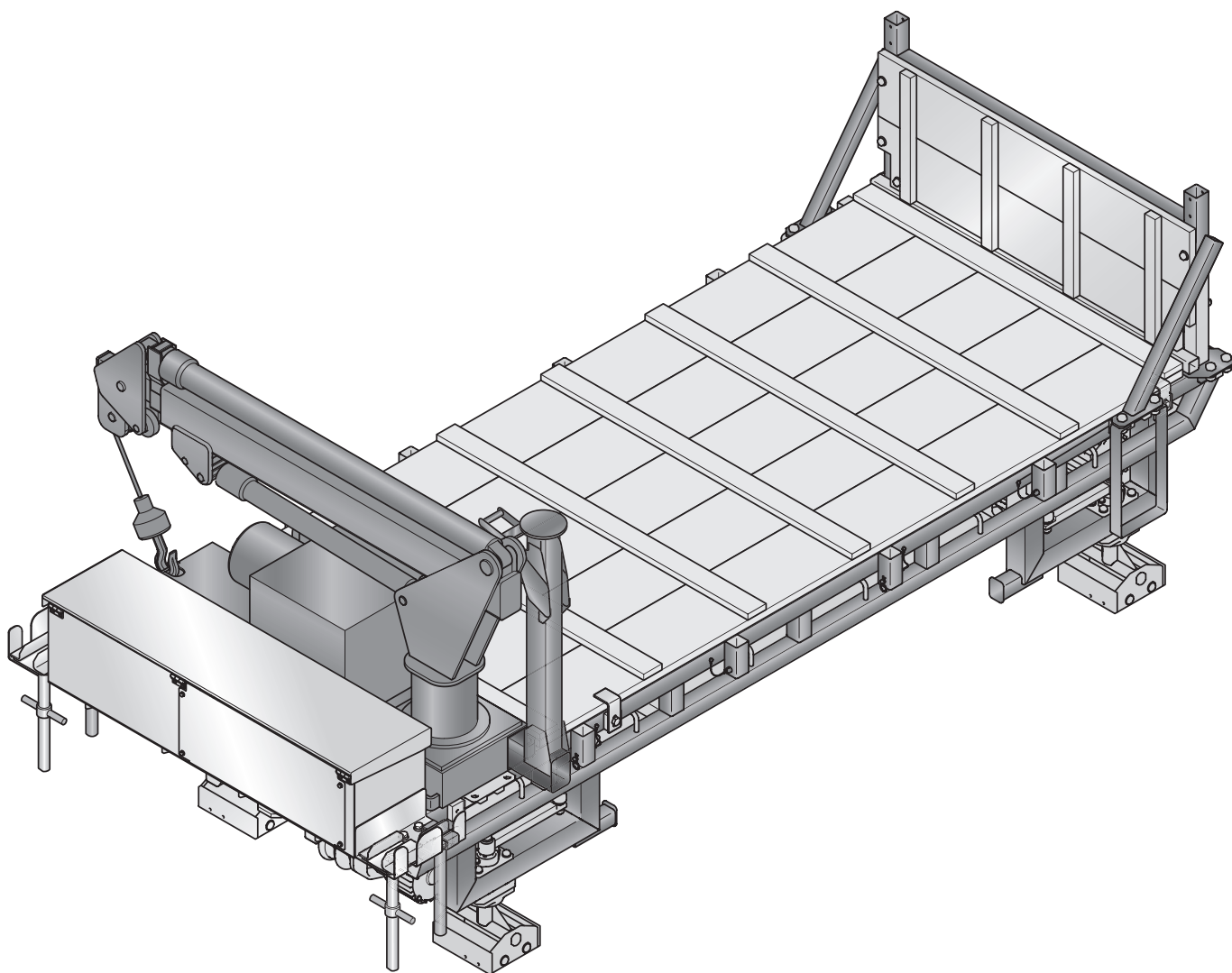


# 重量物用モノラック 荷物台車クレーンオプション CR-500

## 取扱説明書



- このたびは、重量物用モノラック 荷物台車クレーンオプション CR-500 をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- ご使用前に必ずこの取扱説明書と UE500ARS の取扱説明書をよく読んで正しく作業してください。
- 取扱説明書は大切に保管してください。
- お読みになった後は、いつでも見られる場所に必ず保管してください。
- 製品を貸与または譲渡される場合は、製品と一緒にこの取扱説明書もお渡しください。
- 使用可能工具等、ご不明な点がございましたら、お買い求めの販売店にお申し付けください。
- 日本国内での使用を前提として製造しています。日本国外への持ち出し、転売はしないでください。

# もくじ

|      |                     |    |
|------|---------------------|----|
| はじめに | お使いになる前に            | 1  |
|      | 安全上のご注意             | 2  |
|      | 各部の構成・名称            | 8  |
| 組立   | 組立方法【クレーンユニットの取り付け】 | 11 |
|      | 【クレーンユニットの取り外し】     | 15 |
|      | 【オプション品の組み立て】       | 16 |
| 点検   | ご使用前の点検（メンテナンス）     | 20 |
| 使い方  | 積み込み・荷下ろし作業         | 22 |
| 保管方法 | 長期保管方法              | 24 |
| その他  | トラブル時の対処方法          | 24 |
|      | 主要諸元                | 25 |
|      | 搬入方法                | 27 |
|      | アフターサービス            | 28 |
|      | 保証書                 | 30 |

## はじめに ■ お使いになる前に

- この取扱説明書は、製品を使用する際に、ぜひ守っていただきたい安全作業に関する基本的事項、ならびに適切な状態でご使用いただくための正しい運転・調整・整備に関する内容を中心に構成しています。
- 日頃の運転・取り扱いの前にも熟読し、内容を十分に理解された上で、安全・確実な作業を心掛けてください。
- 取扱説明書は、いつでも見られる場所に必ず保管してください。  
紛失または損傷された場合は、速やかにお買い求めいただいた販売店にご連絡ください。
- 製品を十分に点検し、異常がないことを確認してからご使用ください。
- 取扱説明書や警告ラベルに従って、作業をおこなってください。  
取扱説明書に書かれていない操作および取扱いは、絶対におこなわないでください。
- 品質・性能向上あるいは安全上の観点から、使用部品の変更をおこなうことがあります。  
その際には、この取扱説明書の内容およびイラストなどの一部が、本機と一致しない場合がありますのであらかじめご了承ください。
- この製品の補修用性能部品を製造打ち切り後10年間保有しています。  
製造打ち切り後10年経過した場合は、専用部品を提供できなくなりますので、あらかじめご了承ください。  
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

# はじめに ■ 安全上のご注意

ご使用になる前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。  
ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容となりますので、必ずお守りください。

●表示と意味はつぎのようになっています。

|                                                                                             |                                            |                                                                                             |                                        |                                                                                               |                                               |
|---------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------|
|  <b>危険</b> | 誤った取り扱いをすると、「死亡または重傷を負う可能性が大きいと想定される」内容です。 |  <b>警告</b> | 誤った取り扱いをすると、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。 |  <b>注意</b> | 誤った取り扱いをすると、「人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される」内容です。 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------|

●お守りいただく内容を絵表示で区分し、説明しています。

|                                                                                   |                       |                                                                                   |                          |                                                                                     |                         |
|-----------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|--------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------|
|  | してはいけない<br>「禁止」の内容です。 |  | 必ず実行していただく<br>「強制」の内容です。 |  | 気を付けていただく<br>「注意」の内容です。 |
|-----------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|--------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------|

## 本製品について

|                                                                                                |                                                                                            |                                                      |
|------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------|
| <br><b>危険</b> | <br>禁止    | 機械の改造はおこなわないでください。<br>機械の調子が悪くなったり、思わぬ事故を招くおそれがあります。 |
|                                                                                                | <br>必ず守る | 作業前点検・定期点検をおこなってください。<br>故障に気づかず、思わぬ事故を招くおそれがあります。   |

## 警告

禁止

以下の方はご使用を控えてください。

墜落もしくは巻き込まれ、傷害事故が発生するおそれがあります。

- ・飲酒をしている方。
- ・病気やけが、薬物の影響で正常な作業ができない方。
- ・体調がすぐれない方。
- ・モノラック操作の講習を受けていない方。

だぶついたズボン、上着、マフラーや長い髪で作業しないでください。

衣類や髪が回転部に巻き込まれ、けがをするおそれがあります。

走行・点検中に異常を感じたら使用しないでください。

走行中の場合は、直ちに機械およびエンジンを停止し、降車してください。

機械が破損し、けがをするおそれがあります。

運転者はエンジンをかけたまま、牽引車から離れないでください。

部外者が操作し、けがをするおそれがあります。

荷物台車には最大積載量1500kgを超える重量の積み込みをしないでください。

最大積載量については ▶ P25 主要諸元 参照

- ・ブレーキの効きが悪くなります。
- ・機械の破損、けがなどの思わぬ事故を招くおそれがあります。

荷物台車に荷物を載せるときは、バランスに注意し、荷台の幅員130cmを超える幅の積み込みはしないでください。

- ・荷物が人や立ち木などに当たり、荷崩れを起こし、機械の破損、けがなどの思わぬ事故を招くおそれがあります。
- ・荷物台車の安定が悪くなり、走行中に脱線して、けがをするおそれがあります。

荷物台車には最大積載高（重心高）100cmを超える高さの積み込みはしないでください。

荷物台車の安定が悪くなり、走行中に脱線して、けがをするおそれがあります。

## 本製品について（つづき）



### 警告



禁止

荷物台車以外に荷物を載せないでください。  
荷物が落下して人に当たり、傷害事故が発生するおそれがあります。

走行中は荷物台車に乗らないでください。  
走行中に墜落して、傷害事故が発生するおそれがあります。



必ず守る

機械を扱う前に取扱説明書を読み、理解して取り扱ってください。  
けがや機械が破損するおそれがあります。

クレーンについてはUE500ARS取扱説明書を読み、理解して取り扱ってください。  
けがや機械が破損するおそれがあります。

所有者・管理者から十分な安全教育を受けた人だけが、操作をおこなってください。  
事故を起こし、けがをするおそれがあります。

レールが公道・農道などと隣接するときは、立て看板で注意を促し、柵を設けるなどしてください。

- ・走行中に接触すると、傷害事故が発生するおそれがあります。
- ・軌条に気づかず接触して、けがをするおそれがあります。

運転する際は、周囲の安全を十分に確かめた上、運転をおこなってください。  
走行中に接触すると、傷害事故が発生するおそれがあります。



### 注意



必ず守る

整備をおこなうときは、必ず専門の整備技術者に依頼をしてください。  
機械の調子が悪くなったり、思わぬ事故を招くおそれがあります。

## 使用上のご注意〈作業前・点検時〉



### 危険



禁止

給油口に火気を近づけないでください。  
火災・爆発のおそれがあります。

作動油、ギヤオイルの高温時は、点検をおこなわないでください。  
作動油、ギヤオイルが噴き出し、傷害事故が発生するおそれがあります。

点検時以外は、走行範囲に人が入らないようにしてください。  
急に動き出すと、傷害事故が発生するおそれがあります。

機械が破損したり、異常を感じたら絶対に使用しないでください。  
思わぬ事故により、物的損害や人が死亡または重傷を負うおそれがあります。



必ず守る

走行前に、必ずレールに異常がないか点検をおこなってください。  
(割れ、ボルトのゆるみ、磨耗、ラックの変形等)  
脱線して、傷害事故が発生するおそれがあります。

## 使用上のご注意〈作業前・点検時〉（つづき）



危険



必ず守る

各ケーブルに、断線・被覆の破れがないか確認してください。

- ・感電し、けがをするおそれがあります。
- ・牽引車が思わぬ動作をし、けがをするおそれがあります。

バッテリー液が目に入ったときは、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗ってください。

液が目に入ると、失明のおそれがあります。直ちに医師の治療を受けてください。

バッテリー液が誤って口に入ったり、飲みこんだ場合は、しっかりとうがいをしてください。うがい後、水または牛乳を飲み、直ちに医師の治療を受けてください。



注意

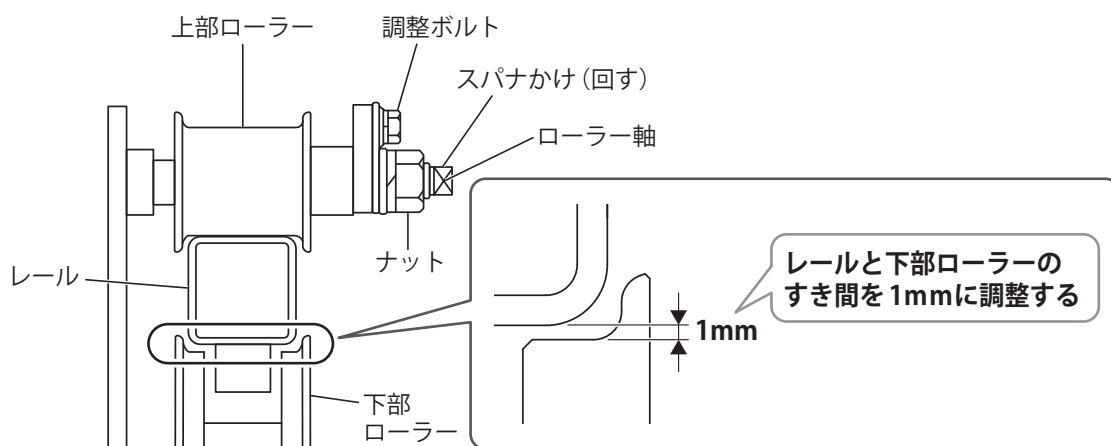
バッテリー液は腐食性の強い希硫酸(劇物)です。取り扱いには十分に注意してください。引火爆発したり、やけど・失明などのけがをするおそれがあります。

機械やレールに散水しないでください。水洗いも、おこなわないでください。感電し、けがをするおそれがあります。また、機械が破損するおそれがあります。

天候が大雨・雷雨・台風の場合は使用しないでください。機械の破損、思わぬ事故を招くおそれがあります。

下部ローラーとレールのすき間が1mmを超えているときは、走行しないでください。

- ・レールからローラーが外れ、脱線して、けがをするおそれがあります。
- ・直ちに運転をやめ、販売店の点検・整備を受けてください。



禁止



警告

室内や換気の悪い場所で運転しないでください。

排気ガスで中毒になるおそれがあります。

積雪した場合は、十分に除雪をおこなった上で、使用してください。

機械の破損、思わぬ事故を招くおそれがあります。

点検・整備は、レールが水平な場所でおこなってください。

万が一、傾斜した場所でおこなう場合は、ロープなどで固定するか、歯止めをして、完全に固定してください。

- ・必ずエンジンは停止し、走行・停止レバーを「停止」に入れ、作業をおこなってください。
- ・機械が動き出し、けがをするおそれがあります。

## 使用上のご注意〈作業前・点検時〉(つづき)



警告



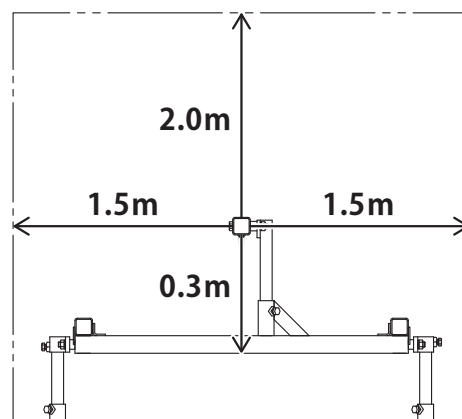
必ず守る

レール周辺(レール左右1.5m以上、上方面2.0m以上、下方面0.3m以上)の障害物を取り除いてください。

走行中に障害物が運転者に当たり、けがをするおそれがあります。

レール周辺の倒木、落石、およびレールにかけた布などは、走行前に確認し、取り除いてください。

- ・機械が破損するおそれがあります。
- ・脱線して、傷害事故が発生するおそれがあります。



注意

ローラーやレールの間に手や指を入れるときは、機械が動かないことを確認してください。手や指に、けがをするおそれがあります。



注意



必ず守る

給油する際はヘルメットをかぶり、足を滑らせないように注意してください。墜落すると、けがをするおそれがあります。

ローラーの調整は水平な場所でおこなってください。傾斜した場所でおこなうと、けがをするおそれがあります。

ローラーの調整の際、ローラー軸がさびているときは、潤滑油をさすか、さび落としてさびを落としてください。

さびたまま無理に回転させると工具が滑り、手にけがをするおそれがあります。

回転しないローラーがあるときは、販売店に修理・交換を依頼してください。そのまま走行すると、ローラーが破損するおそれがあります。

## 使用上のご注意〈始動時〉



危険



必ず守る

エンジン始動時は、走行・停止レバーを「停止」に入れてください。機械が動き出し、傷害事故が発生するおそれがあります。

走行前にフックが正しく収納されているか、確認してください。機械が動き出したときにフックが外れ、機械または積み荷に当たり破損するおそれがあります。

走行前にクレーンの電源が「OFF」になっていることを、確認してください。クレーンが動き出し、機械または積み荷が破損するおそれがあります。



警告



禁止

悪天候および夜間など、視界不良の状況で運転しないでください。脱線・墜落・けがをするおそれがあります。

## 使用上のご注意〈運転開始・走行時〉



警告



禁止

走行中もしくは動いているときに、荷物の積み込み、積み下ろしはしないでください。必ず停車中に足元のしっかりした場所でおこなってください。

転倒したり、荷の下敷きになり、けがをするおそれがあります。また、脱線や衝突して、傷害事故が発生するおそれがあります。

室内や換気の悪い場所で運転しないでください。

排気ガスで中毒になるおそれがあります。



必ず守る

発進するときは、周囲の安全を十分に確かめ、機械およびレールの周辺に人を近づけないでください。

走行中に接触すると、けがをするおそれがあります。

機械が自動停止位置で、止まらなかった場合、または停止位置が通常の停止位置と違うことが確認された場合は、速やかに運転をやめ、販売店の点検を受けてください。

機械の破損、事故が起きるおそれがあります。

機械の走行中、異常な横揺れ、振動、異音、衝撃が発生した場合は、直ちに運転をやめ、販売店の点検を受けてください。

機械の破損、傷害事故が発生するおそれがあります。

## 使用上のご注意〈荷物積み込み・積み下ろし時〉



警告



禁止

荷物台車には高さ(重心高):100cm、幅:130cmを超える積載はしないでください。最大積載量については▶P25 主要諸元 参照

機械の破損、けがをするおそれがあります。

積み下ろし作業地点に到着したら、牽引車のキースイッチにてエンジンを停止した後、非常ブレーキを「停止」に入れてください。

機械が動き出し、けがもしくは思わぬ事故を招くおそれがあります。

荷物台車から荷物の積み込みまたは荷下ろしをおこなうときは、クレーンのアウトリガーと台車付属のアウトリガーを両方同時に使用してください。

荷物台車が横転し、けがもしくは思わぬ事故を招くおそれがあります。

クレーンのアウトリガーを設置するときは、足場が強固であることを確認してください。

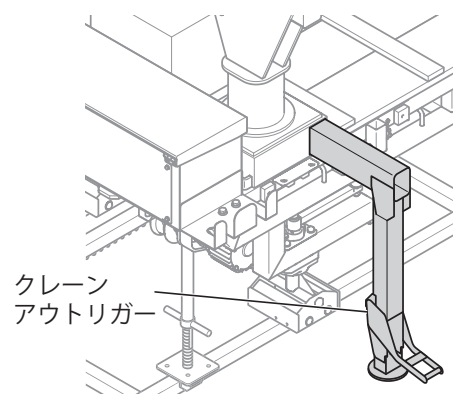
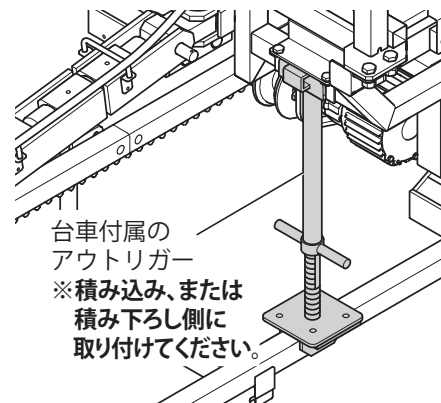
不整地、傾斜地でアウトリガーを設置するときは、必ずアウトリガー受け皿の下に受け台(木、鉄板等)を敷き、台車が水平を保つようにしてください。

荷物台車が横転し、けがもしくは思わぬ事故を招くおそれがあります。

クレーンのアウトリガーは、最大張り出しにして使用してください。

やむをえず張り出し長さを短くして作業する場合は、必ず「アウトリガー最小張り出し時の空車時定格荷重」で作業してください。

荷物台車が横転し、けがもしくは思わぬ事故を招くおそれがあります。



## 使用上のご注意〈荷物積み込み・積み下ろし時〉(つづき)



### 警告



必ず守る

すべてのアウトリガーを設置した後に、電源を「ON」にしてください。  
クレーンが動き出し、けがもしくは思わぬ事故を招くおそれがあります。

荷物の積み込み、荷下ろしの作業が終了したら必ず「クレーンのアウトリガー」および「台車付属のアウトリガー」を格納および取り外してください。  
アウトリガーをセットしたまま走行すると、機械の破損、脱線、傷害事故が発生するおそれがあります。

荷物は荷物台車から落下しないように、必ず荷締め機を使用し、確実に固定してください。  
確実な荷締めは使用者の責任です。  
走行中に荷物が落下し、傷害事故が発生するおそれがあります。

## 作業終了時のご注意



### 警告



必ず守る

機械は、必ず水平な場所で保管してください。  
勝手に動きだし、脱線してけがをするおそれがあります。

クレーンの電源が「OFF」になっていることを、確認してください。  
クレーンが動き出し、けがもしくは思わぬ事故を招くおそれがあります。



### 注意



必ず守る

カバーを掛けて保管してください。  
故障の原因となります。

## 長期保管について



### 注意



必ず守る

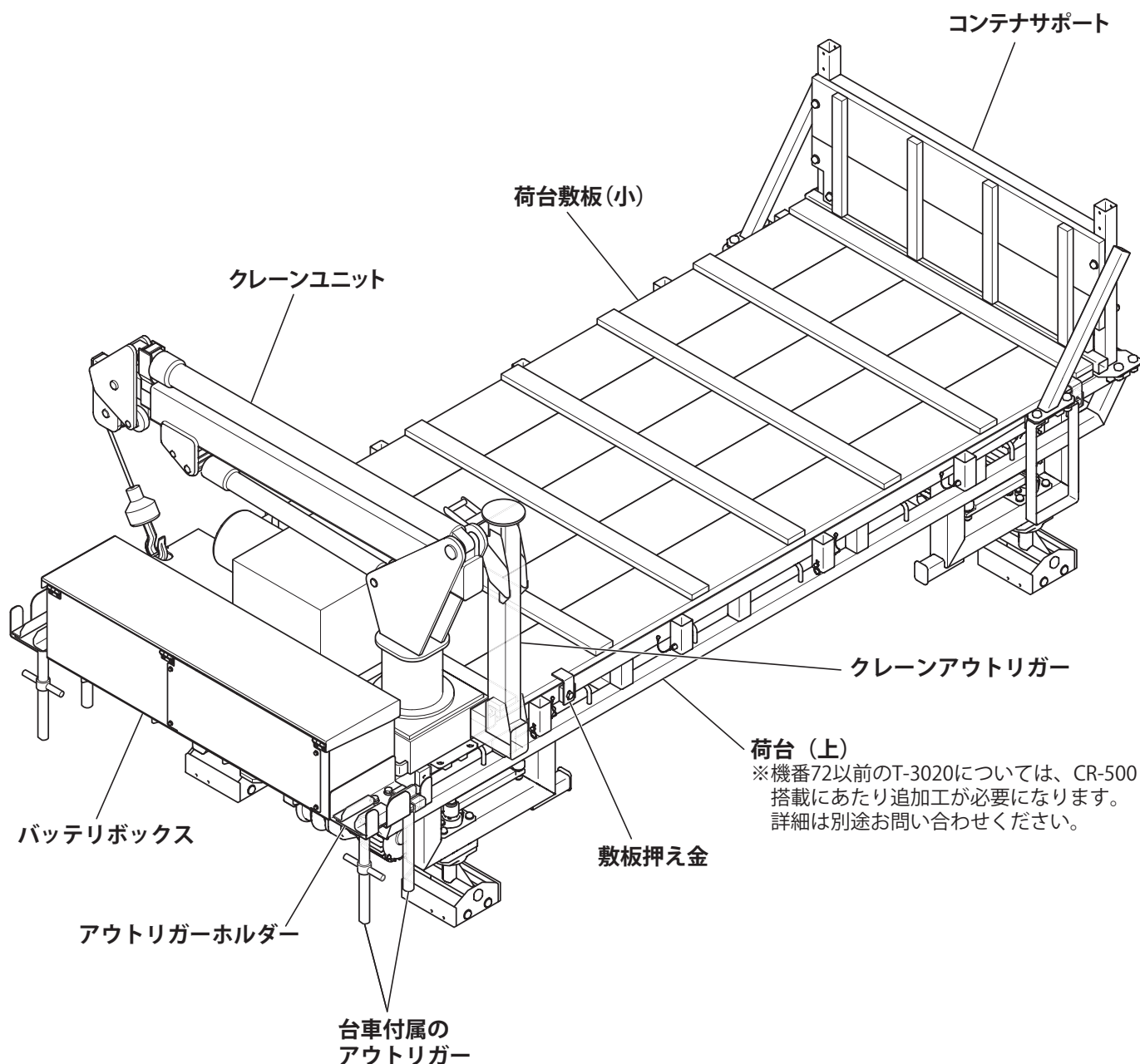
1ヶ月以上使用しないときは、レールが水平な場所で保管してください。  
機械が動き出し、事故が起きるおそれがあります。

レールに歯止めをするなどして機械を固定してください。  
機械が動き出し、事故が起きるおそれがあります。

湿気の少ない場所に保管してください。  
機械が破損し、けがをするおそれがあります。

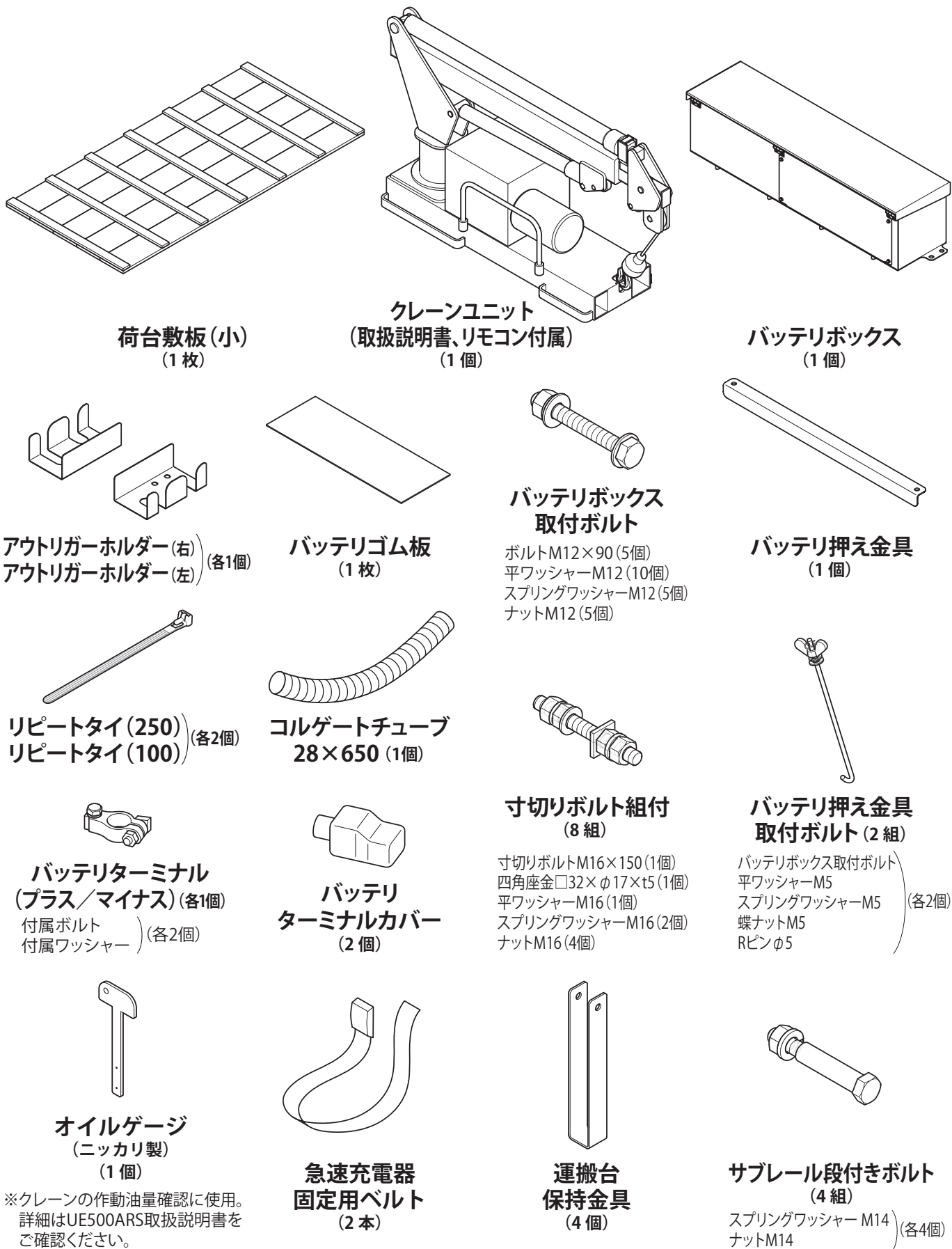
# はじめに ■ 各部の構成・名称

## 各部の名称



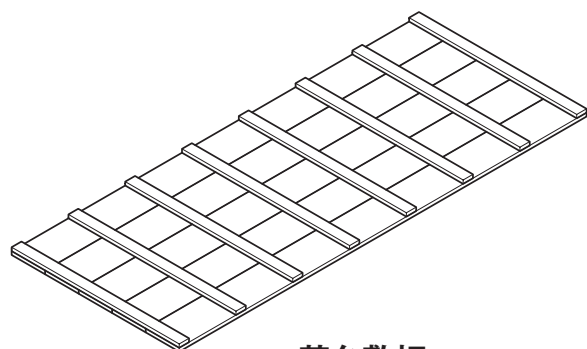
※クレーンの名称、ラベルについてはUE500ARS取扱説明書をご確認ください。

## 内容物一覧

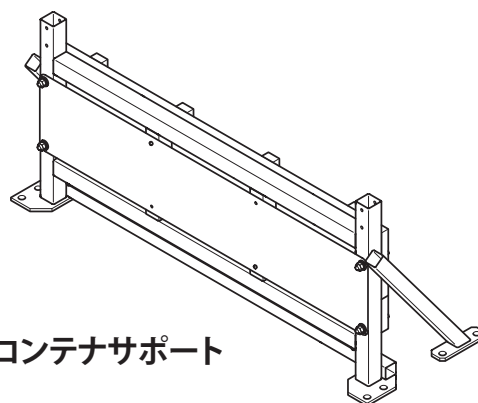


※クレーンの作動油量確認に使用。  
詳細はUE500ARS取扱説明書を  
ご確認ください。

## T-2000から脱着する部品



荷台敷板 (1枚)



コンテナサポート



サイドサポート (8本)

※T-2000の敷板、コンテナサポートを外した際の下記部品は組立にも使用します



敷板押え金  
ボルト M10×25  
(平ワッシャー・  
スプリングワッシャー付)



(各4個)

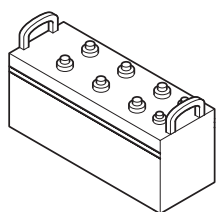


ボルトM16×40  
平ワッシャー M16  
スプリングワッシャーM16  
ナットM16

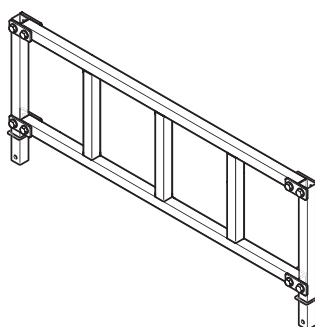
(各4個)※1

※1 取り外した8セット中4セットを組立に使用

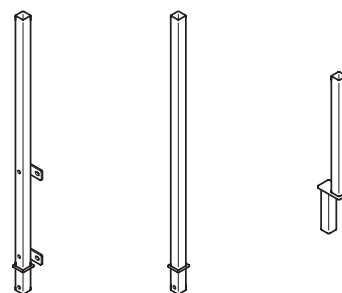
## オプション品



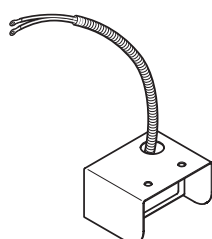
バッテリー



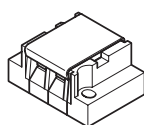
クレーンガード



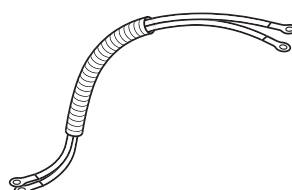
手すり支柱



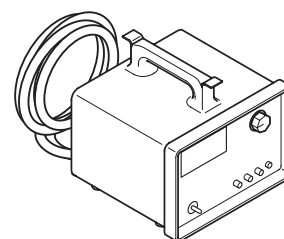
バッテリー残量計



端子台



延長ケーブル

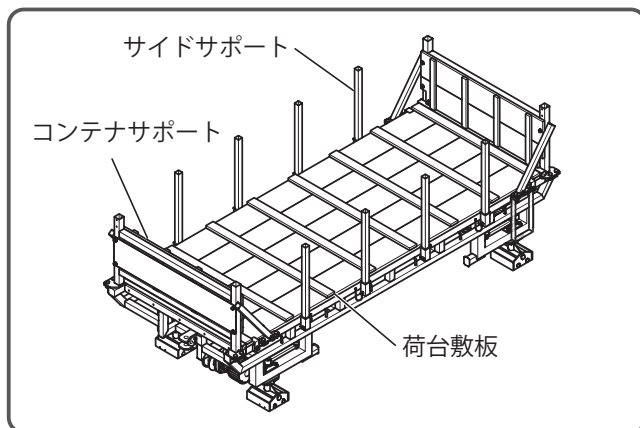


急速充電器

# 組立 ■ 組立方法【クレーンユニットの取り付け】

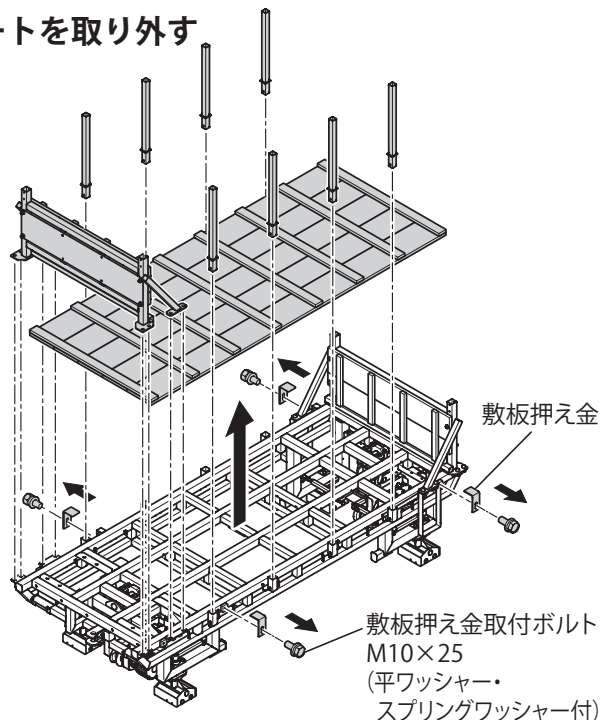
## 1. 荷台敷板、サポート部材の取り外し

### ① 荷台から荷台敷板、コンテナサポート、サイドサポートを取り外す



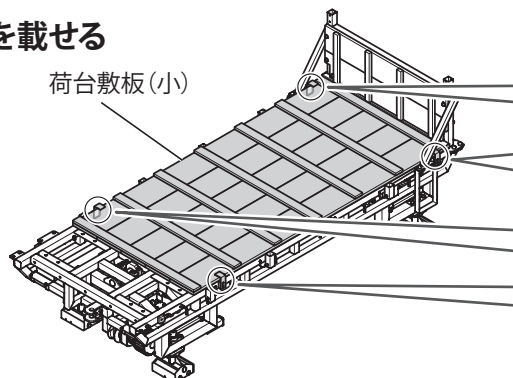
#### 注意！

取り外した敷板押え金、ボルト類は取り付けに使用するのでなくさないようにする。

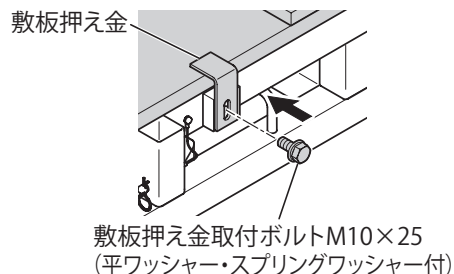


## 2. 荷台敷板(小)を取り付ける

### ① 荷台に荷台敷板(小)を載せる



### ② 敷板押え金を取り付ける(4カ所)

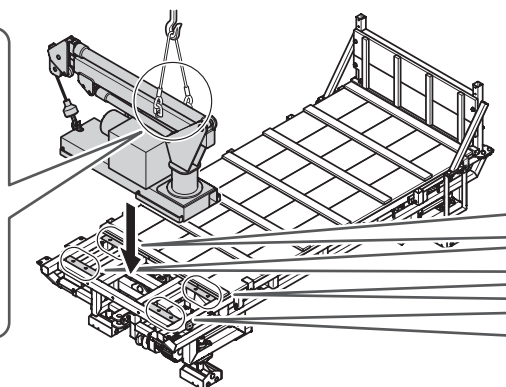


## 3. クレーンを取り付ける

### ① 荷台にクレーンユニットを載せる ▶ P12 クレーンユニットの荷台積載位置 参照

クレーンについているわっかにシャックルを通して吊る

シャックル

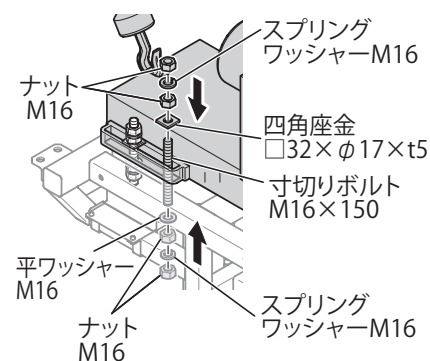


#### 注意！

クレーンの取り付け向きを間違えない。

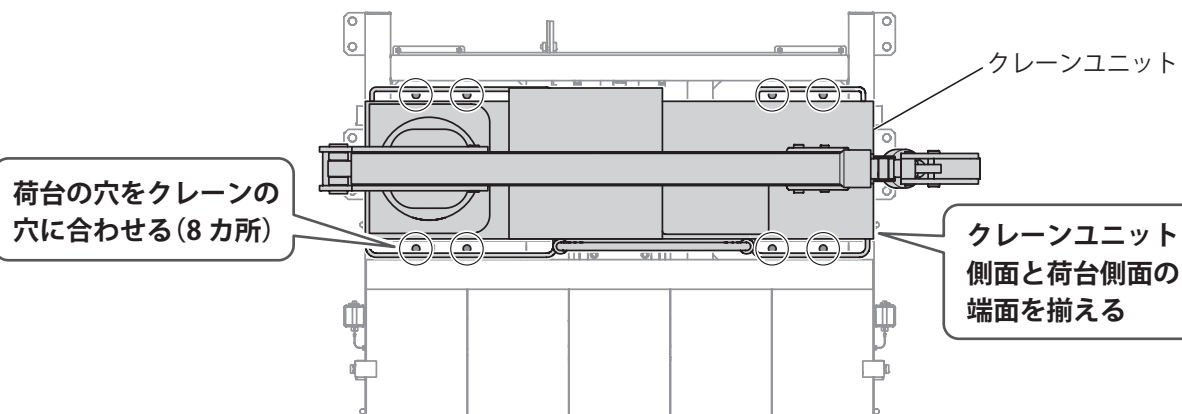
取り付けはできますが旋回方向が逆になるので使用できません。

### ② 寸切りボルトを取り付ける(8カ所)



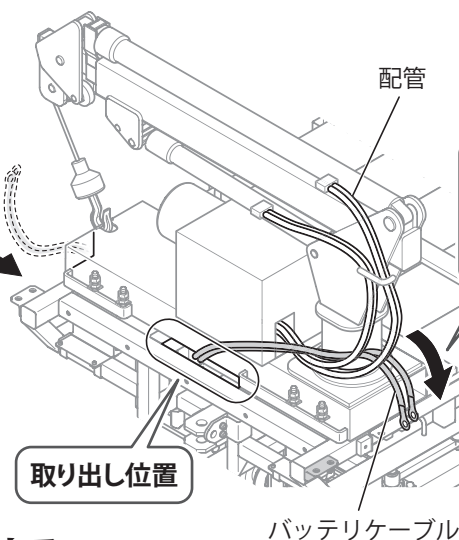
※ナット M16 はスプリングワッシャーに接する側を平らな面にして取り付け。

## クレーンユニットの荷台積載位置



## 4. バッテリーケーブルを移動する

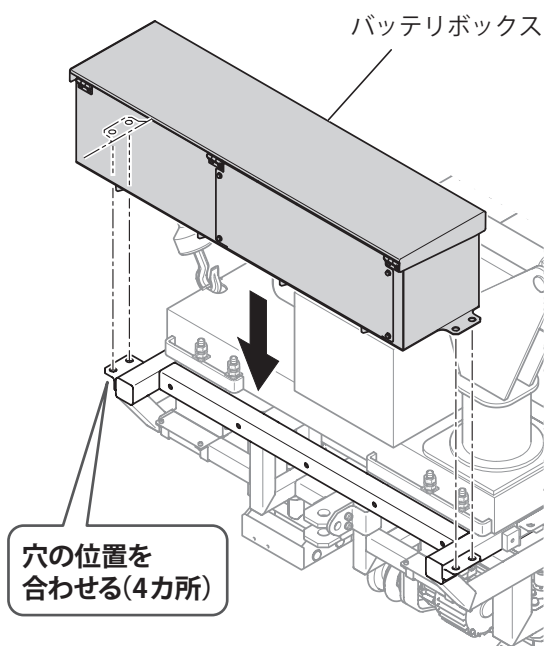
①横から出ているバッテリーケーブルを一度クレーンの内側に戻し、取り出し位置から引き出す



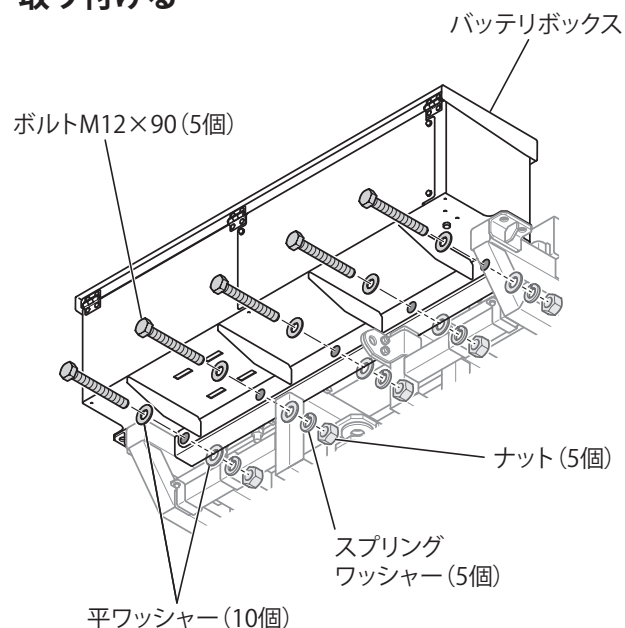
②引き出したバッテリーケーブルは配管にかけておく

## 5. バッテリーボックスを取り付ける

①バッテリーボックスを載せる

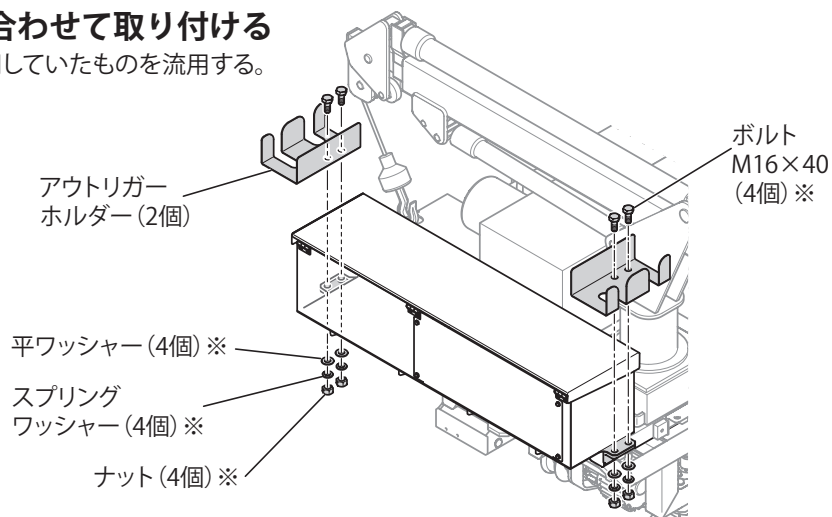


②バッテリーボックスの下側の穴にボルトを取り付ける



### ③アウトリガーホルダーを穴位置に合わせて取り付ける

※のボルト類は、コンテナサポートの固定に使用していたものを流用する。



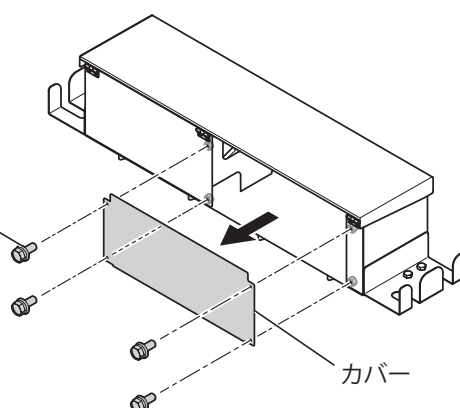
## 6. バッテリーを取り付ける

### ①バッテリーボックスのカバーを外す

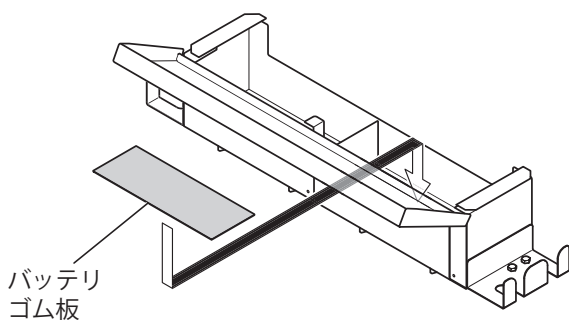
カバー止めボルトM6×16  
(平ワッシャー・スプリングワッシャー付)  
(4個)

#### 注意！

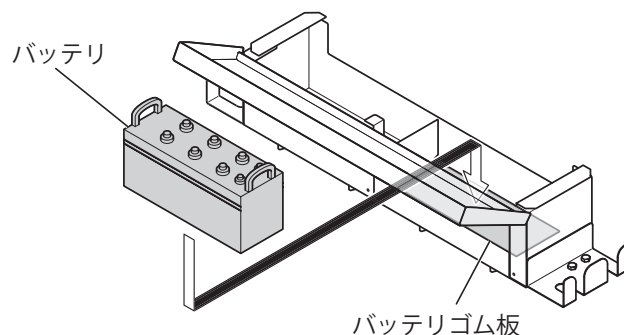
取り外したボルト類は取り付けに  
使用するのでなくさないようにする。



### ②バッテリーボックスのフタを開け、底面に バッテリーゴム板を敷く



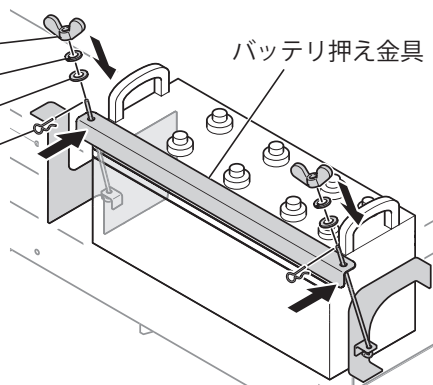
### ③バッテリーゴム板の上にバッテリーを載せる



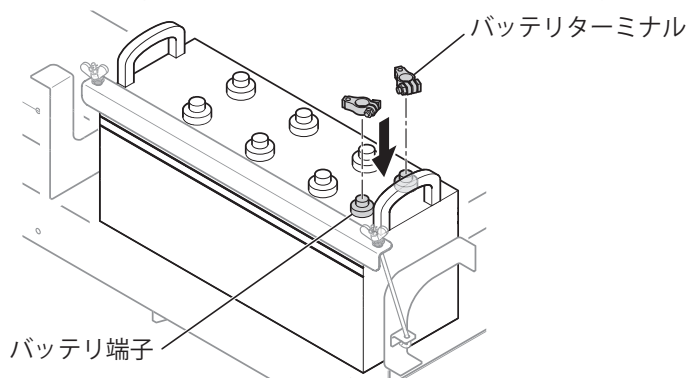
### ④バッテリー押え金具を取付ボルトで固定する

蝶ナットM5 (2個)  
スプリングワッシャーM5 (2個)  
平ワッシャー M5 (2個)  
Rピンφ2×15 (2個)

バッテリー押え金具

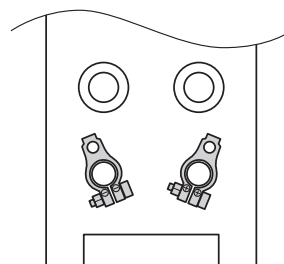


### ⑤ バッテリ端子にバッテリターミナルを取り付ける



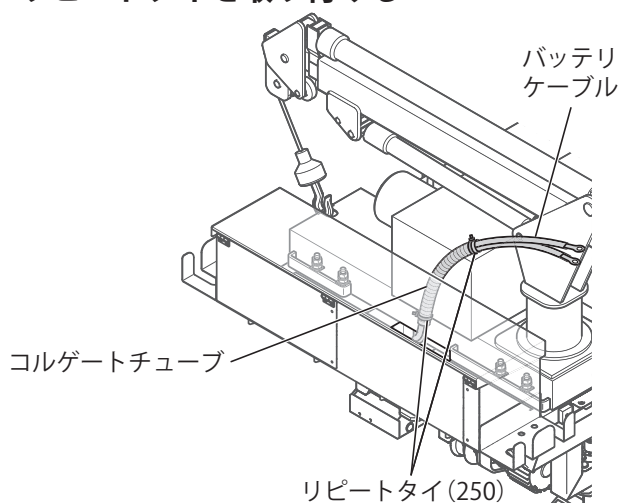
## 注意！

バッテリーターミナルは下図の通り  
取り付ける。

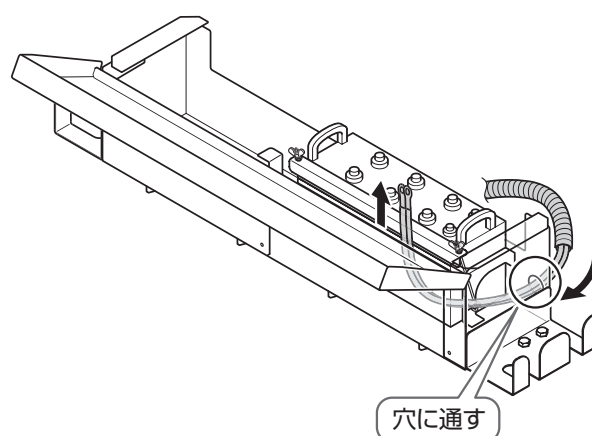


## 7. バッテリケーブルを取り付ける

## ① バッテリーケーブルにコルゲートチューブと リピータを取り付ける



## ②ケーブルをバッテリーケースの穴に通して内側に入れる



### ③ バッテリターミナルにバッテリーケーブルを取り付ける

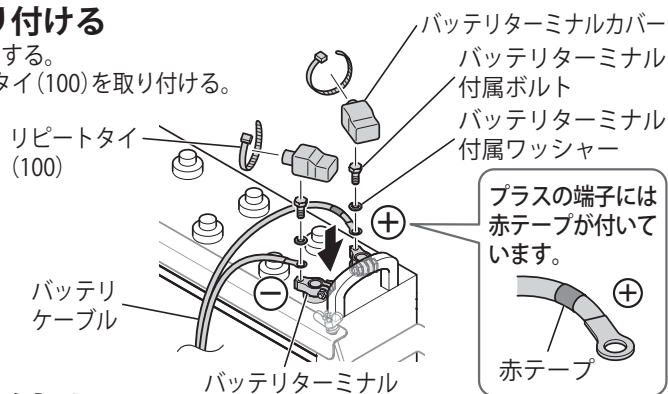
※バッテリーターミナル付属ボルトは一度外し、ケーブル端子と共締めする。

※バッテリーターミナルにバッテリーカバーを取り付けたあとリピータイ(100)を取り付ける。

**注意！**

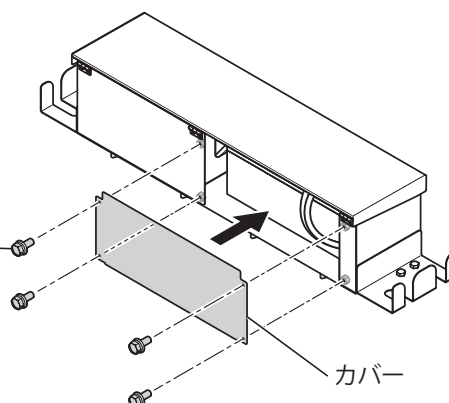
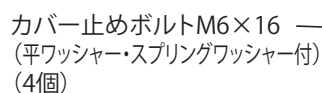
バッテリーケーブルの端子はプラス→マイナスの順で取り付ける。

順番を逆にするとショートするおそれがあります。



## 8. バッテリーボックスのカバーを取り付ける

**① バッテリーボックスのフタをしめ、  
カバーを取り付けて元の状態にもどす**



# 組立 ■ 組立方法【クレーンユニットの取り外し】

組立方法【クレーンユニットの取り付け】の工程を逆の順番で作業してください。

## 1. バッテリーボックスのカバーを取り外す ▶ P14 8. ①参照

---

## 2. バッテリーケーブルを取り外す ▶ P14 7. ①～③参照

---

### 注意！

バッテリーケーブルの端子は取り付け時とは逆にマイナス→プラスの順で取り外す。  
順番を逆にするとショートするおそれがあります。

## 3. バッテリーを取り外す ▶ P13 6. ①～④、P14 6. ⑤ 参照

---

## 4. バッテリーボックスを取り外す ▶ P12 5. ①、②、P13 5. ③ 参照

---

## 5. バッテリーケーブルを移動する ▶ P12 4. ① 参照

---

### 注意！

必ずバッテリーケーブルの取り出し位置を移動する。  
おこなわないとクレーン本体の取り外し時にバッテリーケーブルが引っ掛かり、  
バッテリーケーブルが破損するおそれがあります。

## 6. クレーンを取り外す ▶ P11 3. ①、② 参照

---

## 7. 荷台敷板(小)を取り外す ▶ P11 2. ①、② 参照

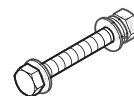
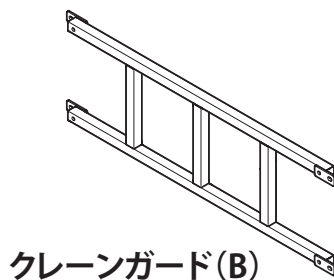
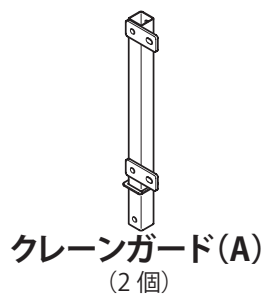
---

## 8. 荷台敷板、サポート部材を取り付ける ▶ P11 1. ① 参照

---

# 組立 ■ 組立方法【オプション品の組み立て】

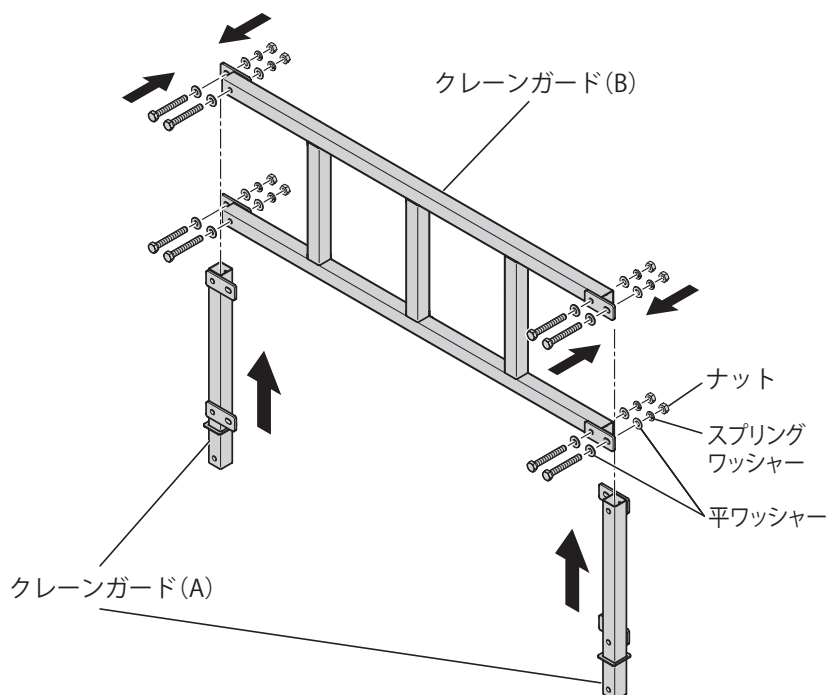
## クレーンガード



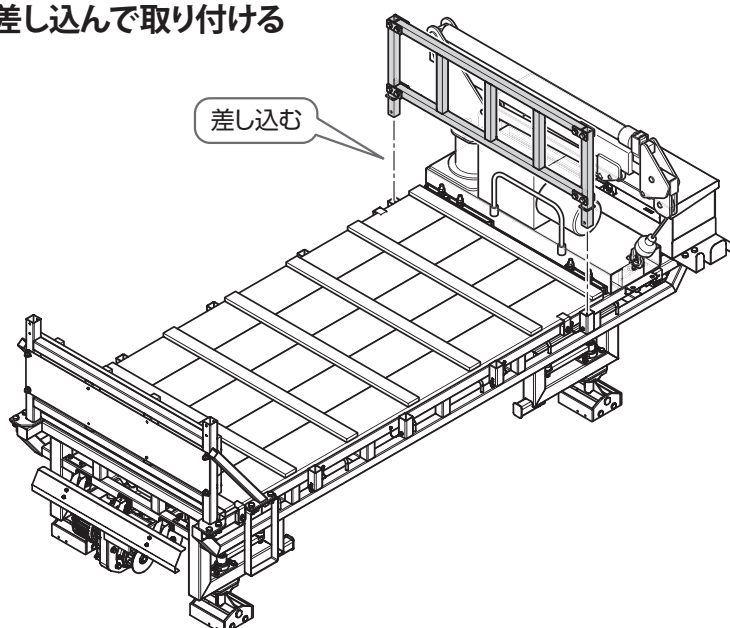
### 締結部材

ボルト M10×70 (8 個)  
平ワッシャー M10 (16 個)  
スプリングワッシャー M10 (8 個)  
ナット M10 (8 個)

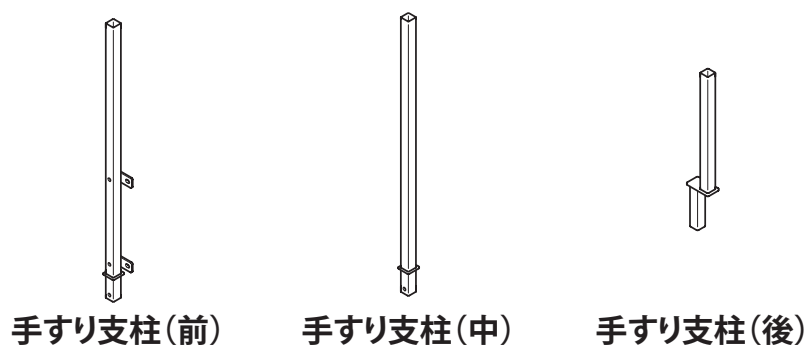
### ①クレーンガード(A)をクレーンガード(B)に取り付ける



### ②サイドサポートの穴に差し込んで取り付ける



# 手すり



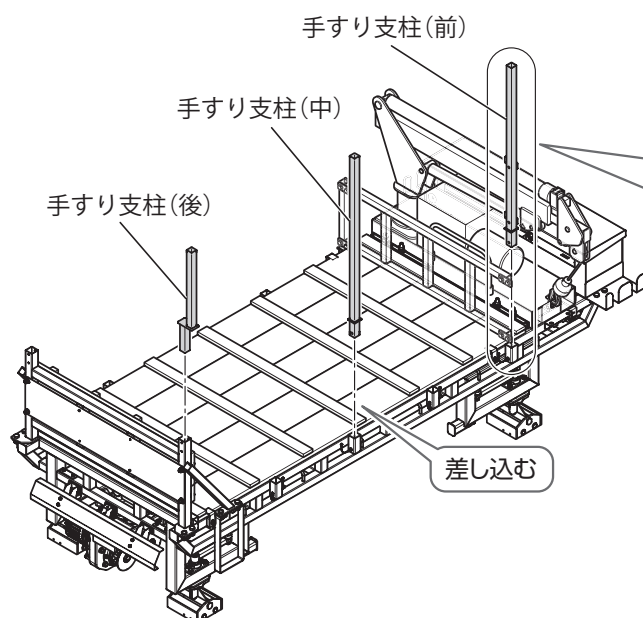
単管パイプ、直交クランプは  
お客様でご用意をお願いします

直交クランプ  $\phi 48.6 \times \square 40$  (6個)  
 $\phi 48.6 \times \square 50$  (2個)  
 $\phi 48.6 \times \phi 48.6$  (1個)

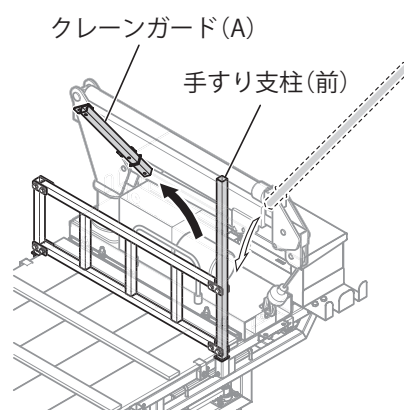
単管パイプ  $\phi 48.6 \times 1.5\text{m}$  (1本)  
 $\phi 48.6 \times 2.6\text{m}$  (2本)

※クレーンガードは P16 のものを併用する

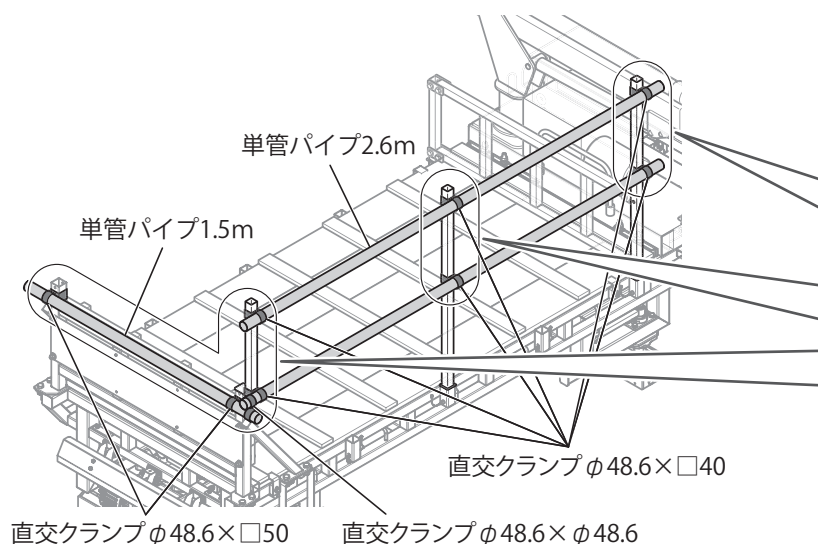
## ①サイドサポートの穴に手すり支柱を差し込む



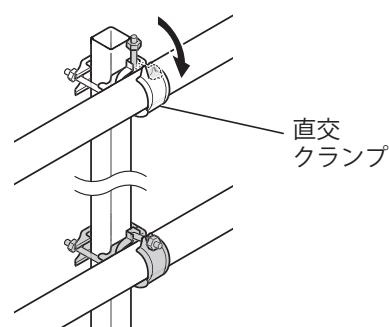
手すりを取り付ける側のクレーンガード(A)  
を取り外し、手すり支柱(前)を取り付ける。



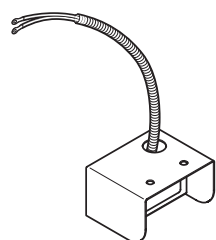
## ②直交クランプで単管パイプを固定する



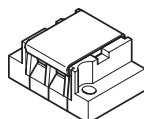
ネジ部を金具に落とし込んで固定する



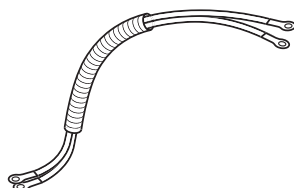
## バッテリー残量計



バッテリー残量計



端子台



延長ケーブル



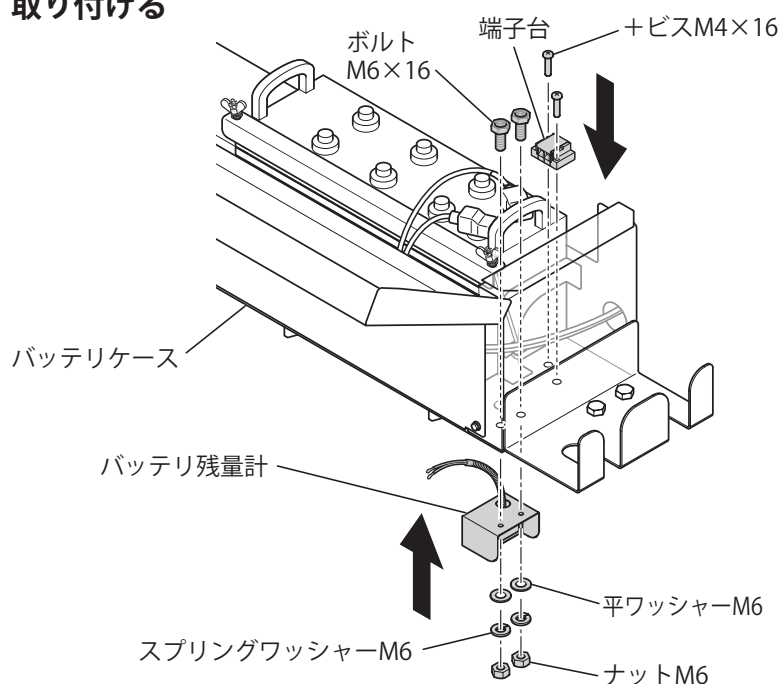
ワンタッチ  
ブッシュ



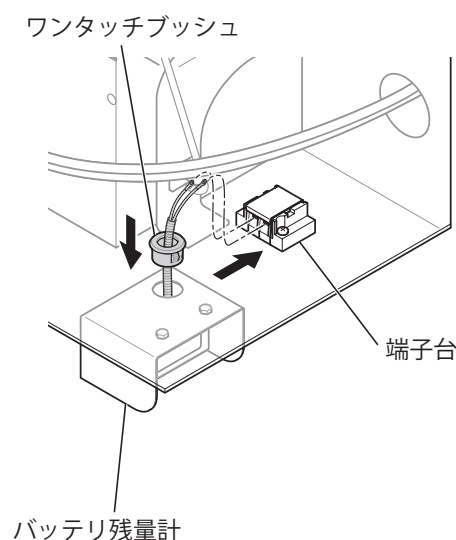
### 締結部材

ボルト M6×16 (2 本)  
平ワッシャー M6 (2 個)  
スプリングワッシャー M6 (2 個)  
ナット M6 (2 個)  
+ビス M4×16 (2 個)  
ナット M6 (3 種) (2 個)

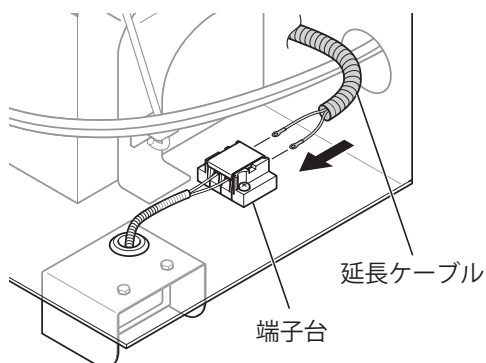
### ① バッテリーケースの下側からバッテリー残量計と端子台を取り付ける



### ② バッテリー残量計の端子を端子台に取り付ける



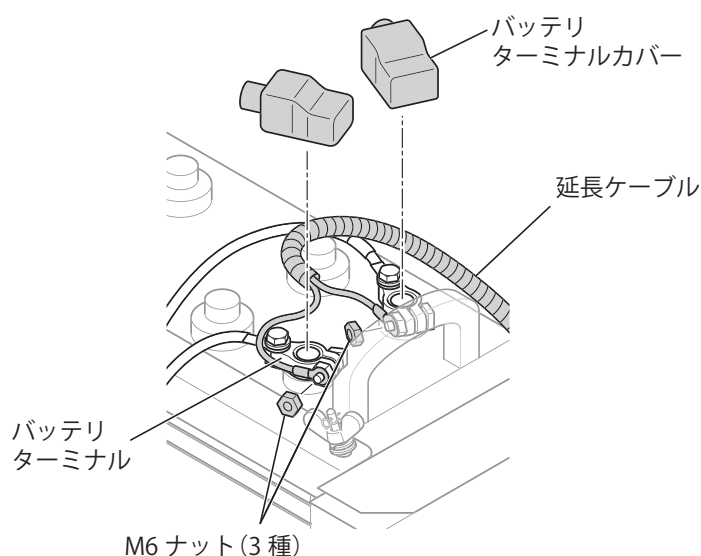
### ③ 延長ケーブルの片側の端子を端子台へ取り付ける



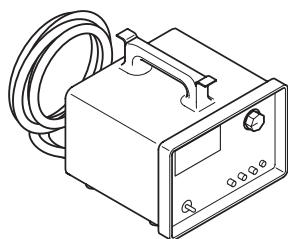
#### 注意！

同一色のケーブル同士を接続する。  
+側：赤    -側：黒

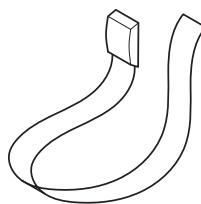
### ④ 延長ケーブルの反対側の端子をバッテリーターミナルに取り付け、バッテリーターミナルカバーをかぶせる



## 急速充電器

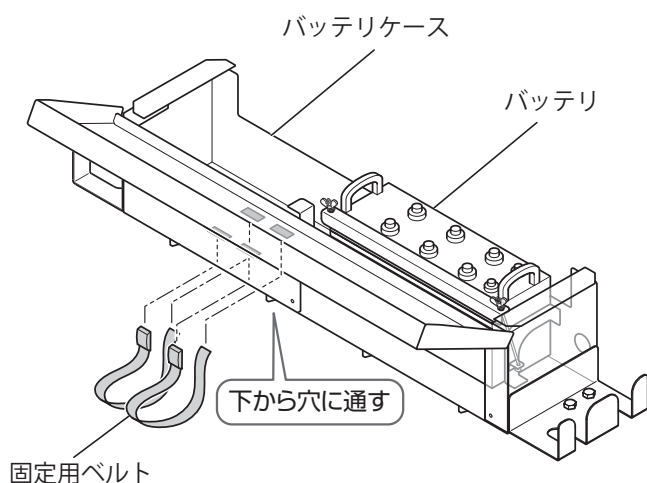


急速充電器

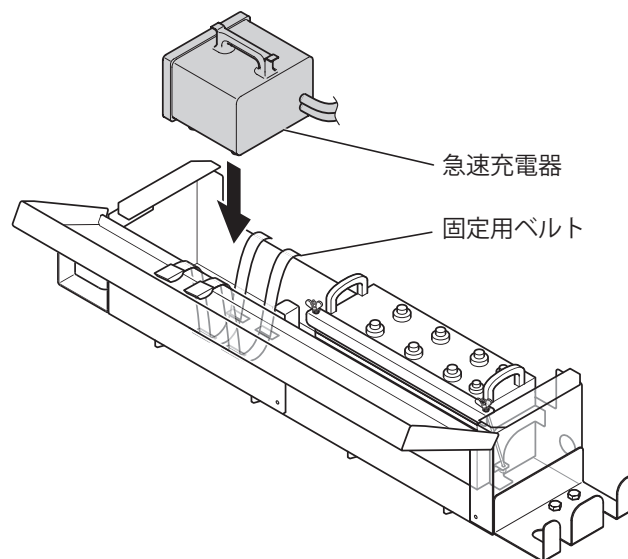


固定用ベルト

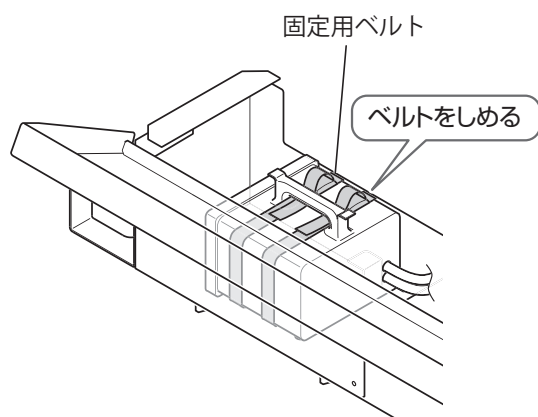
### ① 固定用ベルトをバッテリーケースの底面の穴に下から通す



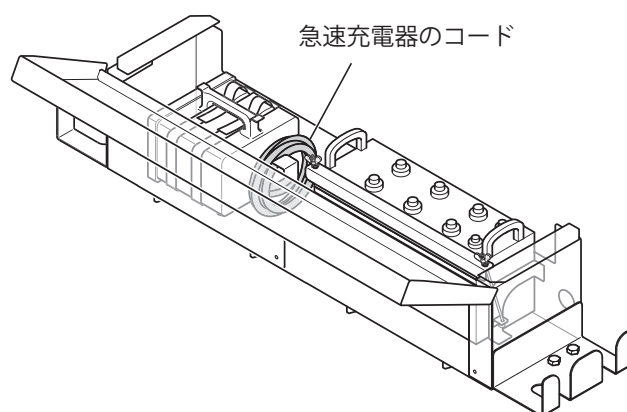
### ② 急速充電器を固定用ベルトの上へ載せる



### ③ ベルトをしめて急速充電器を固定する



### ④ 急速充電器のコードをバッテリーケース内に収納する



# 点 検 ■ ご使用前の点検（メンテナンス）

## ⚠ 危険



作業前点検で異常があったときは、直ちに使用をやめて、販売店の点検を受けてください。  
また、点検時に外したカバー類は元通りに取り付けてください。  
思わぬ事故により、けがをしたり、機械が破損するおそれがあります。

## ⚠ 警告



室内や換気の悪い場所で  
運転しないでください。  
排気ガスで中毒になるおそれ  
があります。

## ⚠ 注意

点検・整備は、エンジンを停止して、エンジンが十分に冷えたことを確認しておこなってください。  
エンジンの高温部に触れるとやけどをするおそれがあります。



必ず守る

点検・整備は、レールが水平な場所でおこなってください。  
万が一、傾斜した場所でおこなう場合は、ロープなどで固定するか、歯止めをして、完全に固定してください。  
・必ずエンジンは停止し、走行・停止レバーを「停止」に入れ、作業をおこなってください。  
・機械が動き出し、けがをするおそれがあります。

## 荷物台車

| 点検箇所     | 点検項目                                                                | 頻度                   | 参照ページ |
|----------|---------------------------------------------------------------------|----------------------|-------|
| 制動輪      | 締付ナットはゆるんでいないか                                                      | 始業時                  | —     |
| ミッションオイル | 規定量あるか、漏れはないか                                                       |                      | —     |
| ローラー     | 締付ナットのゆるみ、がたつき・揺れ・振動・異常音はないか                                        |                      | —     |
| サイドローラー部 | レールとローラーの間に異物がはさまっていないか                                             |                      | —     |
|          | ローラー部やリンクアーム部が変形していないか                                              | 100 時間ごと<br>または 1 ヶ月 | —     |
|          | ローラー部やリンクアーム部がスムーズに動くか<br>※アウトリガーを使用しサイドローラー部が浮いた状態で確認              |                      |       |
|          | 軸をおさえた状態でローラーが回るか（ベアリングが固着していないか確認）<br>※アウトリガーを使用しサイドローラー部が浮いた状態で確認 |                      |       |
| ローラー調整   | ローラーとレール間のすき間は 1 mm か                                               | 始業時                  | P4    |
| 連結部      | 連結器と副連結ワイヤーによって連結されているか                                             | 始業時                  | —     |
|          | 溶接部およびその周辺に亀裂はないか                                                   |                      |       |
|          | 連結ピンがすり減って細くなったり、変形したりしていないか                                        |                      |       |
|          | 連結ピンのピン穴が大きくなっていないか                                                 |                      |       |
|          | 連結ピンの R ピンの破損、抜けはないか                                                |                      |       |
|          | 連結器の変形、破損はないか                                                       |                      |       |
|          | 副連結ワイヤー取付部シャックルのねじはゆるんでいないか                                         |                      |       |
| 各部ねじ     | ゆるんでいないか                                                            | 100 時間ごと<br>または 1 ヶ月 | —     |
| フレーム     | 変形していないか                                                            |                      | —     |
| バッテリー液   | 規定量あるか                                                              | 始業前                  | P21   |
| 電線類      | 断線・被覆に破れ・劣化は無い                                                      | 始業前                  | —     |

クレーン取扱説明書 ①作業前の点検をご確認ください。

## レール・ストッパー受け

| 点検箇所     | 点検項目                 | 頻度                   | 参照ページ |
|----------|----------------------|----------------------|-------|
| レール支持ボルト | ゆるんでいないか             | 100 時間ごと<br>または 1 ヶ月 | —     |
| 各部ナット・ねじ | ゆるんでいないか             |                      |       |
| レール・ラック  | 異常な摩耗や変形、腐食していないか    |                      |       |
| ストッパー受け  | 作動するか、変形していないか       |                      |       |
| 支持金具     | 割れないか                |                      |       |
| 沈下防止板    | 割れないか、地面にしっかり接地しているか |                      |       |
| 支柱       | 沈下や腐食、曲がっていないか       |                      |       |
| サブレール    | 異常な摩耗や変形、腐食していないか    |                      |       |
| 主支柱      | 異常な摩耗や変形、腐食していないか    |                      |       |
| ベース      | 異常な摩耗や変形、腐食していないか    |                      |       |

# バッテリーについて

## ⚠ 危険



禁止

バッテリー液の液面が下限 (LOWER) ライン以下の状態で使用しないでください。

バッテリーケーブルは、プラスとマイナスを逆に接続しないでください。  
機械が破損・焼損したり、引火・爆発や火災により、けがをするおそれがあります。

バッテリー液が手、皮膚、衣服についたときは、速やかに多量の水で洗い流してください。  
液が付着すると、やけどのおそれがあります。



必ず守る

バッテリー液が目に入ったときは、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗ってください。  
液が目に入ると失明のおそれがあります。直ちに医師の治療を受けてください。

バッテリー液が誤って口に入ったり、飲みこんだ場合は、しっかりとうがいをしてください。  
うがい後、水または牛乳を飲み、直ちに医師の治療を受けてください。

劣化したバッテリーは、専門の廃棄業者に廃棄を依頼してください。  
適切に処理しないと、環境を汚染します。

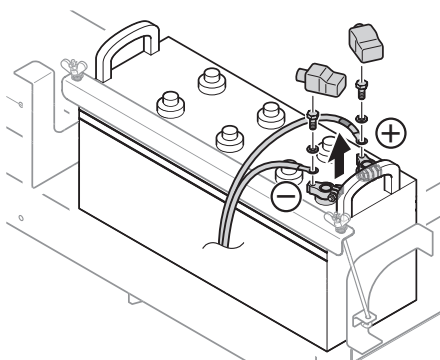
## バッテリー液の点検・補給 ※水平な状態でおこなってください。

※取り扱い時は保護メガネ、ゴム手袋を着用してください。

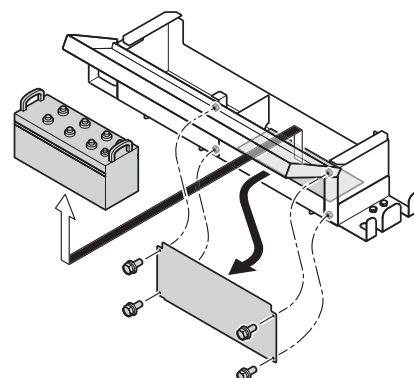
①バッテリー液の液面が下限 (LOWER) ラインに近づいていたら、バッテリーの配線を取り外す

必ず守る！

取り外すときは  
⊖ (マイナス) 側の  
配線から取り外す。



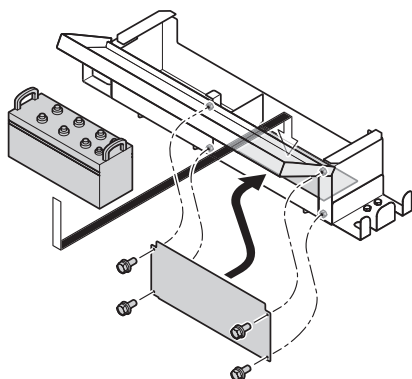
②バッテリーボックスカバーをはずし  
バッテリーを取り出す



③キャップを外して、各槽ともバッテリー補充液 (蒸留水) を上限 (UPPER) ラインまで補給する

④キャップを確実に締め付ける

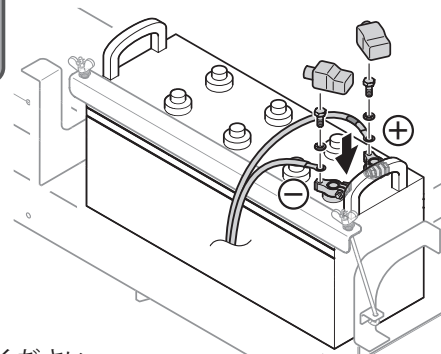
⑤バッテリーボックスにバッテリーを  
もどし、バッテリーボックスカバー  
を元にもどす



⑥バッテリーの配線を取り付ける

必ず守る！

取り付けるときは  
⊕ (プラス) 側の  
配線から取り付ける。



※クレーンについてはUE500ARS取扱説明書をご確認ください。

# 使い方 ■ 積み込み・荷下ろし作業

## ⚠ 警告



荷物台車には最大積載量を超える重量の積み込みをしないでください。  
ブレーキの効きが悪くなります。また、機械の破損、けがなどの思わぬ事故を招くおそれがあります。

※最大積載量については ▶ P25 主要諸元 参照

## 1. クレーン作業前

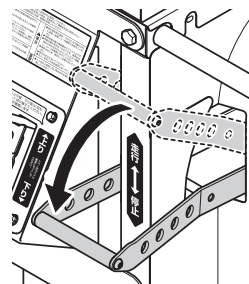
### ① 走行・停止レバーを「停止」に入れる

- ブレーキレバーは、途中から自動で倒れます。
- 始点・終点で止まります。

#### 注意！

走行・停止レバーの軌道上に障害物を置かない(手足にも注意)。

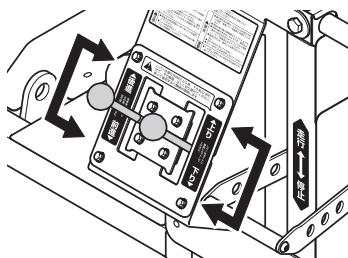
ブレーキが完全にかからず、思わぬ事故を招くおそれがあります。



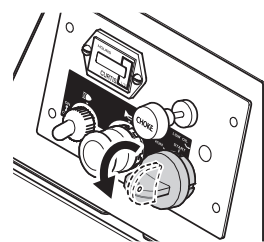
### ② 停止したことを確認してから、その場所で次の進行方向へ「前後レバー」「上下レバー」を切り替える

#### 注意！

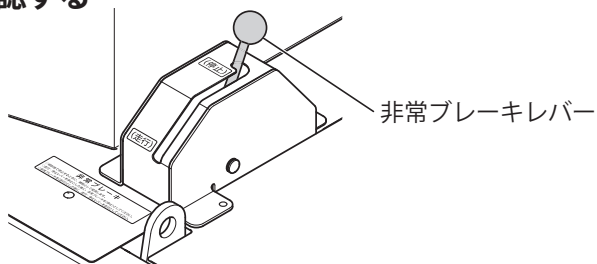
中間位置だとニュートラル状態になり機械が動くおそれがあるため、必ずレバーを入れること。



### ③ キーを「OFF」に回し、エンジンを停止する。

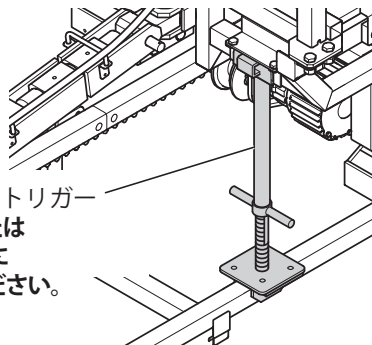


### ④ 非常ブレーキレバーが「停止」にあるか確認する

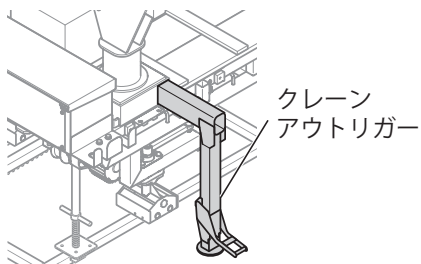


### ⑤ 台車付属のアウトリガーをクレーン作業側に取り付ける

台車付属のアウトリガー  
※積み込み、または  
積み下ろし側に  
取り付けてください。

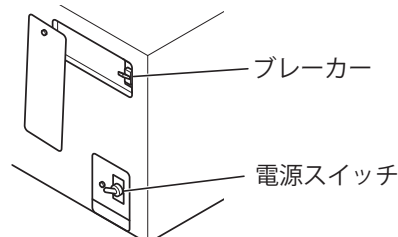


### ⑥ クレーンアウトリガーをクレーン作業側に取り付ける



※クレーンアウトリガー設置は、UE500ARS取扱説明書を参照ください。

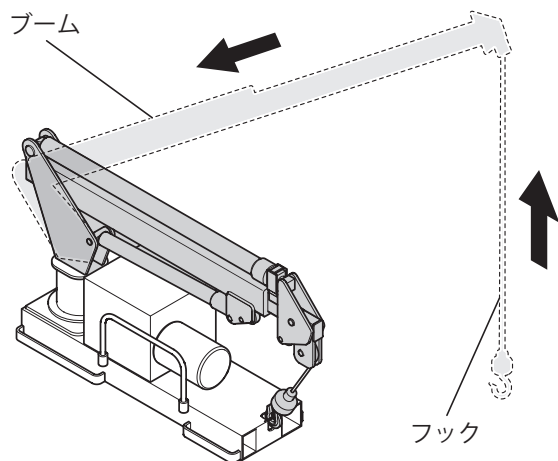
### ⑦ 積み込み・荷下ろし作業前にクレーンのブレーカーと電源スイッチを「ON」にする



※クレーン操作方法は、UE500ARS取扱説明書を参照ください。

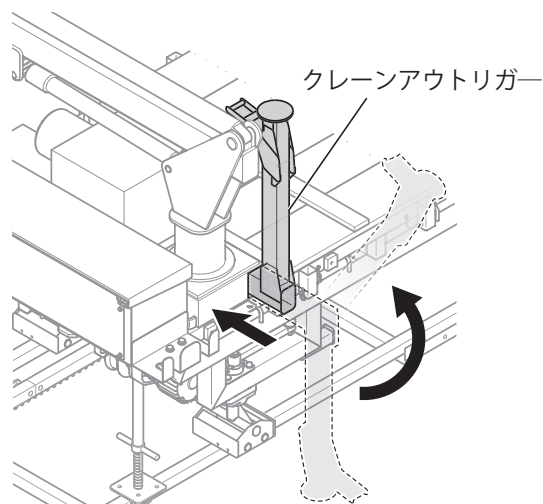
## 2. クレーン作業後

- ❶ クレーンのブームとフックを格納し、クレーンの電源を「OFF」にする。



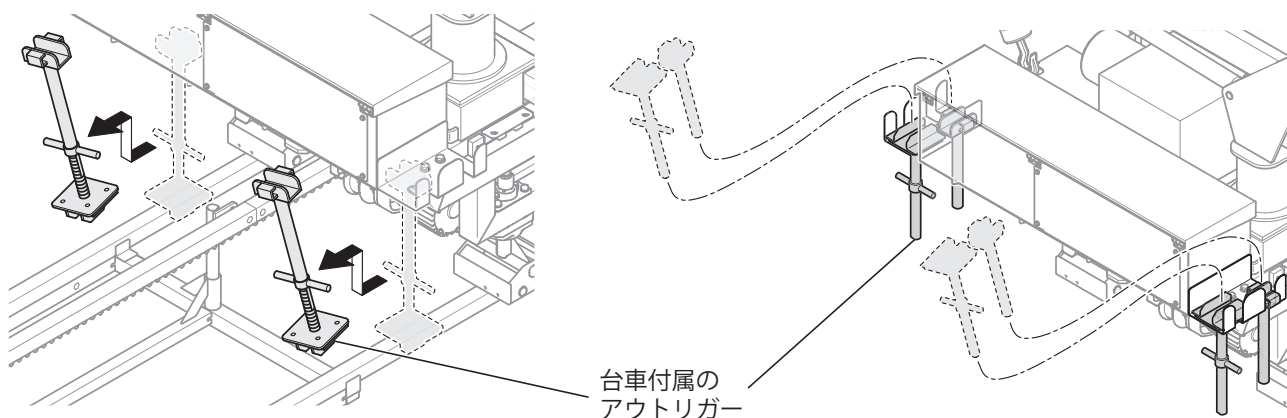
※クレーンフックの格納は、UE500ARS取扱説明書を参照ください。

- ❷ クレーンアウトリガーを格納する。



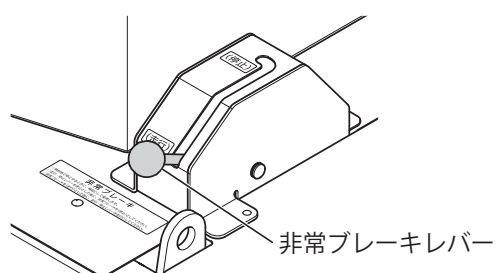
※クレーンアウトリガーの格納は、UE500ARS取扱説明書を参照ください。

- ❸ 台車付属のアウトリガーを外し、収納する。

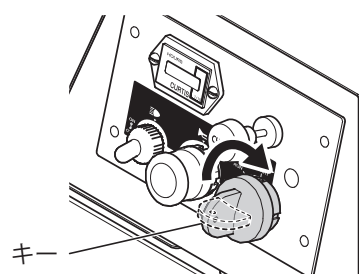


すぐに機械を始動させる場合は以下の手順で始動させてください。

- ❹ 非常ブレーキレバーを「走行」に入れる。



- ❺ キーを「START」に回し、エンジンを始動させる。



# 保管方法 ■ 長期保管方法

## ⚠ 注意

1 ヶ月以上使用しないときは、レールが水平な場所で保管してください。  
機械が動き出し、事故が起きるおそれがあります。



必ず守る レールに歯止めをするなどして機械を固定してください。  
機械が動き出し、事故が起きるおそれがあります。

湿気の少ない場所に保管してください。  
機械が破損し、けがをするおそれがあります。

# その他 ■ トラブル時の対処方法

## ⚠ 警告



異常だと思ったら絶対に使用しないでください。  
・ 思わぬ事態により、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。  
・ 軽傷または物的損害の発生する頻度が高いことが想定されます。

| トラブルの内容                      | 考えられる原因                                  | 対処方法                                               | 参照ページ |
|------------------------------|------------------------------------------|----------------------------------------------------|-------|
| 正しい始動操作をおこなっているのに、エンジンが始動しない | バンパーが作動している。                             | バンパーの状況を確認してください。                                  | —     |
|                              | 非常ブレーキレバーが「停止」に入っている                     | ブレーキレバーを「走行」に入れてください。                              | P23   |
|                              | 非常ブレーキレバー内のリミットスイッチが故障している               | リミットスイッチの交換が必要です。直ちに販売店の点検・整備を受けてください。             | P23   |
|                              | 台車付属のアウトリガーが設置されている                      | 台車付属のアウトリガーを取り外してください。                             | P23   |
| 正しい操作をおこなっているのに、機械が駐停車しない    | ブレーキ内のオイルシールが破損している<br>駐停車ブレーキの調整が適切ではない | 機械の運転をやめ、エンジンを止めて安全に降車してください。直ちに販売店の点検・整備を受けてください。 | —     |
| クレーンが作業中に停止した                | バッテリーが不足している                             | 充電してください。                                          | —     |
|                              | 送信機の電池切れまたは故障                            | 乾電池を交換してください。交換しても動かない場合は UE500ARS 取扱説明書を参照してください。 | —     |
|                              | オーバーロード                                  | UE500ARS 取扱説明書を参照してください。                           | —     |
|                              | 作動装置の異常                                  | お買い求めの販売店へ連絡してください。                                | —     |
| 走行中、異常な横揺れ、振動、異音、衝撃が発生した     | 障害物と干渉している                               | 機械の運転をやめ、エンジンを止めて安全に降車してください。直ちに販売店の点検・整備を受けてください。 | —     |
|                              | 機械が故障している                                |                                                    | —     |
|                              | ローラー部のすき間があいている                          |                                                    | P4    |

## その他 ■ 主要諸元

| 型式         |    | T-3020 (CR-500 取付時) |
|------------|----|---------------------|
| 大きさ        | 全長 | 3405mm              |
|            | 全幅 | 1560mm              |
|            | 全高 | 1520mm              |
|            | 重量 | 950kg               |
| 走行最大傾斜角度   |    | 45°                 |
| クレーン作業傾斜角度 |    | 0°± 5°              |
| 最大積載重量     |    | 1500kg              |
| 制御装置       |    | 内部拡張式ブレーキ (遠心式)     |
| 使用レール      |    | MT-3000 レール         |

## クレーン UE500ARS (3段式ブーム)

性能の速度は、油温 45 ～ 55 ℃、無負荷、バッテリー完全充電状態、ポンプ定格吐出量時の値です。  
本機の各速度は、車載バッテリーの充電状態によって変化します。

### 主要仕様

| 形式              |         | UE500ARS (3段式ブーム)                                      |
|-----------------|---------|--------------------------------------------------------|
| クレーン容量 (つり上げ荷重) |         | 490kg × 1.4m<br>(アウトリガー使用 - 最大張出時)<br>(ジブ伸長時 全域 105kg) |
| 最大地上揚程          |         | 約 4.65m (ジブ伸長時 約 5.25m)                                |
| ブーム長さ           |         | 1.45m ～ 2.52m ～ 3.59m (ジブ伸長時 約 4.19m)                  |
| 最大作業半径          |         | 3.42m (ジブ伸長時 4.02m)                                    |
| フック巻上速度         |         | 5m/min (2 層目)                                          |
| ブーム伸長速度         |         | 2.14m/38sec                                            |
| ブーム上げ時間         |         | 0°～ 82° /17sec                                         |
| 旋回速度            |         | 200° /26sec                                            |
| 旋回範囲            |         | 200°                                                   |
| 巻上ロープ           | 構成      | A7 × 19                                                |
|                 | ロープ径×長さ | 6.35mm × 12m 切断荷重 31.2kN (3.18tf)                      |
| 動力源             |         | バッテリー式 UE500ARS : DC12V<br>UE500AVRS : DC24V           |
| 油圧ポンプ           | 定格圧力    | 13.7MPa (140kg/cm <sup>2</sup> )                       |
|                 | 定格吐出量   | DC12V : 3.0 ℓ /min, DC24V : 4.2 ℓ /min                 |
| 作動油タンク容量        |         | 5.3 ℓ                                                  |

## 装置および構造

| 形式      | UE500ARS (3段式ブーム)                     |
|---------|---------------------------------------|
| ブーム伸縮装置 | ブーム：箱型 3 段 + ジブ 1 段                   |
|         | 油圧シリンダ直押式<br>(油圧自動ロック装置付)             |
| ブーム起伏装置 | 油圧シリンダ直押式<br>(油圧自動ロック装置付)             |
| 巻上装置    | 減速機：平歯車減速式                            |
|         | ブレーキ：メカニカル自動ブレーキ                      |
| 旋回装置    | 油圧シリンダ直押ラック + ピニオン式                   |
| 電気装置    | 油圧発生装置モータ：<br>電動 直流モータ 1.5KW          |
|         | ウインチモータ：<br>電動 直流モータ 300W             |
| アウトリガー  | (横) 手動引出式                             |
|         | (縦) 足踏押し上げ式<br>格納時ハネ上げ式<br>(高さ調節ピン付き) |
| 油圧ポンプ   | ギヤ形                                   |
| 安全装置    | 油圧安全弁                                 |
|         | 油圧自動ロック装置                             |
|         | 荷重指示計 (角度計付き)                         |
|         | 巻上装置用電流遮断器 (ブレーカ)                     |
|         | 玉掛ワイヤロープはずれ止め                         |

## ラジコン装置仕様

| 型式名称   | RC-CD800 ラジコン装置 |                                       |
|--------|-----------------|---------------------------------------|
| 無線部    | 適合電波法           | 特定小電力無線局<br>(電波法第 4 条第 3 号)           |
|        | 無線周波数           | 429MHz 帯                              |
|        | 送信出力            | 10mW                                  |
|        | 周波数切換           | オートスキャン (自動選択)<br>方式                  |
|        | 電波到達距離          | 100m 以上<br>(電波障害のない好条件時)              |
| 制御     | 操作スイッチ          | ブーム起・伏<br>フック巻上・巻下<br>ブーム伸・縮<br>旋回左・右 |
|        | 電源スイッチ          | 送信機電源 ON/OFF 切換                       |
| 電源     | 送信機             | 単 4 乾電池 × 2 本 (DC3V)                  |
|        | 受信機             | 車両電源 (DC12V/24V)                      |
| 消費電力   | 送信機             | 電池寿命 30 時間以上<br>(アルカリ電池)              |
|        | 受信機             | 50mA 以下 (負荷電流除く)                      |
| 使用温度範囲 |                 | -20℃ ~ +60℃                           |
| 保存温度範囲 |                 | -30℃ ~ +80℃                           |
| 重量     | 送信機             | 162g (電池付)                            |
|        | 受信機             | 550g                                  |

## 空車時定格荷重表

### ①空車時定格荷重

使用ブーム：□1□、□1+2□、□1+2+3□

| 作業半径 (m)     |       | 1.4 | 1.5 | 1.7 | 2.0 | 2.5 | 3.0 | 3.42 | 4.02 |
|--------------|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|------|
| 空車時定格荷重 (kg) | ジブ格納時 | 485 | 450 | 400 | 330 | 260 | 215 | 190  |      |
|              | ジブ伸長時 | 100 |     |     |     |     |     |      |      |

### ②アウトリガー最小張出時の空車時定格荷重

使用ブーム：□1□、□1+2□、□1+2+3□

| 作業半径 (m)                    |       | 1.35 | 1.4 | 1.5 | 1.7 | 2.0 | 2.5 | 3.0 | 3.42 | 4.02 |
|-----------------------------|-------|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|------|
| アウトリガー最小張出時<br>空車時定格荷重 (kg) | ジブ格納時 | 300  | 285 | 265 | 230 | 185 | 150 | 120 | 100  |      |
|                             | ジブ伸長時 | 50   |     |     |     |     |     |     |      |      |

### 注意！

- 空車時定格荷重表はアウトリガーを張出し、水平にセットした時の車両の安定度に基づいた性能で、負荷時のブームのたわみを含んだ実際の作業半径に基づいています。
- アウトリガー最大張出とは、インナーボックスを I マークまで伸長させた状態です。

# その他 ■ 搬入方法

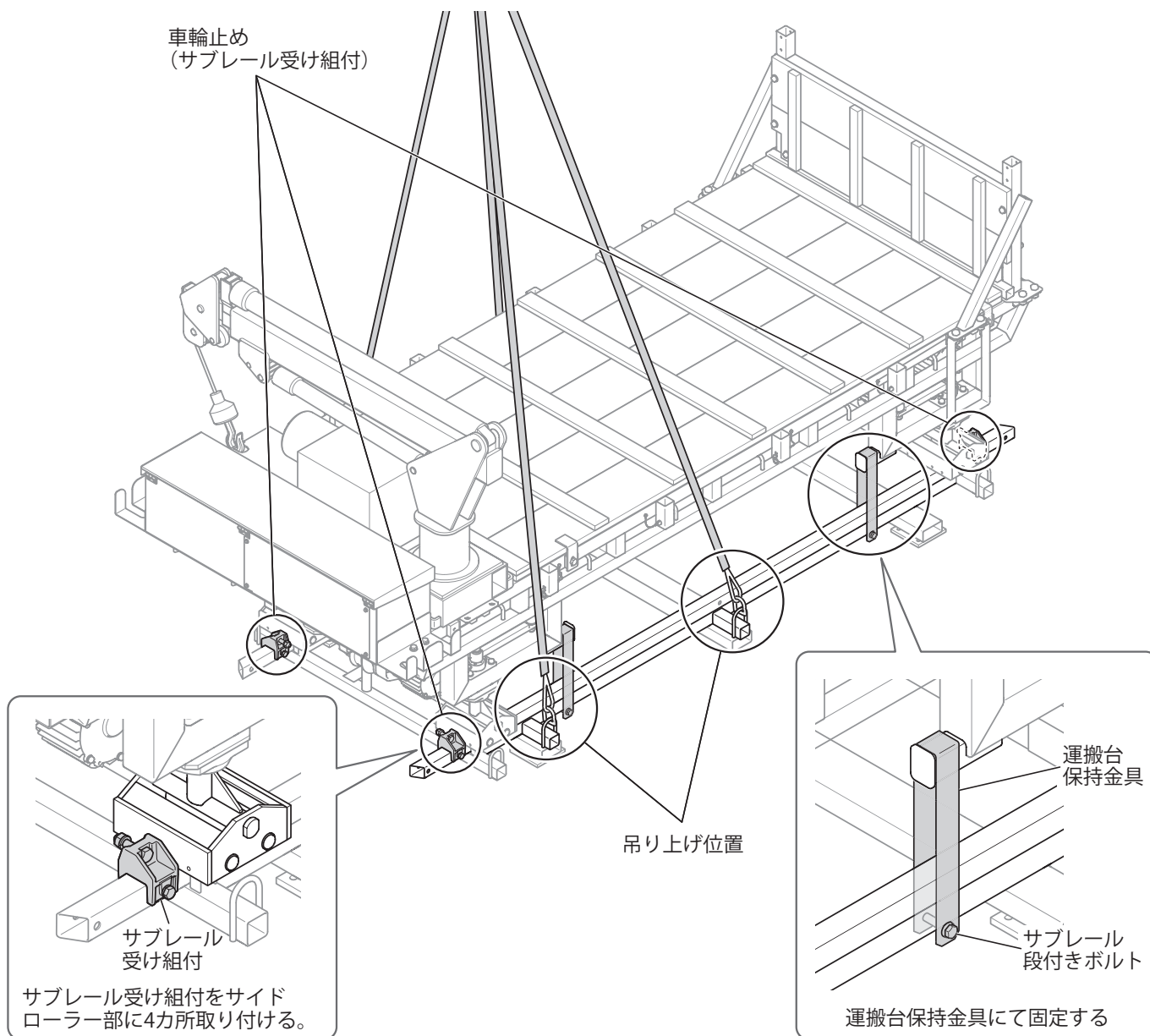
## CR-500 の搬入

### ⚠ 警告



必ず守る

運搬台上で台車が動かないよう、車輪止めを取り付けてください。  
吊り上げをおこなった際に、台車が動き落下するおそれがあります。



### 必ず守る！

所定の吊り上げ位置にて吊り上げる。

位置を間違えるとバランスが取れず、製品の破損や思わぬ事故を招くおそれがあります。

※機番 72 以前の T-3020 に付属している運搬台については、CR-500 搬入にあたり追加加工が必要になります。  
詳細は別途お問い合わせください。

## その他 ■ アフターサービス

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は、お買い求めの販売店へお申し付けください。

### 保証書 (P30)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い求めの販売店からお受け取りください。  
よくお読みのあと、保管してください。

保証期間：納品した日から 1 年間

### 補修用性能部品の保有期間

この製品の補修用性能部品を、製造打ち切り後 10 年間保有しています。

製造打ち切り後 10 年経過した場合は、専用部品を提供できなくなりますので、あらかじめご了承ください。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

### 修理を依頼されるとき

お買い求めの販売店へご連絡ください。

- 保証期間中は、保証書の規定に従って、修理をさせていただきます。
- 保証期間が終了している場合、修理可能な製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

### 修理ご相談窓口

お買い求めの販売店にお申し付けください。

### オプション品について

オプション品をご購入するときは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

# 整備メモ

# その他 ■ 保証書

## 保証書

|     |           |                                          |
|-----|-----------|------------------------------------------|
| お客様 | ふりがな      |                                          |
|     | お名前       | 様                                        |
|     | 〒         |                                          |
|     | ご住所       |                                          |
|     | TEL       | ( )                                      |
|     | お客様へのお願い  | 取扱説明書等の内容について十分説明を受け、署名した後、本書を受け取ってください。 |
| 販売店 | 店名・住所・TEL | 印                                        |

|      |    |
|------|----|
| 牽引車  | 型式 |
| 機体番号 |    |

※

|      |    |
|------|----|
| 乗用台車 | 型式 |
| 機体番号 |    |

|      |    |
|------|----|
| 荷物台車 | 型式 |
| 機体番号 |    |

|       |       |
|-------|-------|
| 納入年月日 | 年 月 日 |
|-------|-------|

※印の所は乗用タイプのみ記入

〒703-8228 岡山県岡山市中区乙多見 482-1

株式会社 **ニッカリ**  
TEL 086 (279)1291



※ご記入いただきました個人情報は、個人情報に関する法令等を遵守し、製品保証に関する業務および納品説明確認業務に利用させていただきます。

## 保証規定

### 1. 保証の内容

お買い上げいただいた弊社製造の製品を構成する純正部品に材料または製造上の不具合が起きた場合、この保証書に示す期間と条件に従って、これを無料修理いたします。（以下この無料修理を保証修理といいます。）保証修理は部品の交換あるいは補修により行います。なお取り外した部品は弊社所有となります。

### 2. 保証期間

弊社製品を保証登録した日から1年間

### 3. 保証できない事項

- ①保守、整備の不備または取り扱い間違いに起因する不具合
- ②取扱説明書、注意ラベルに示す取り扱い方法と異なる使用に起因する不具合
- ③弊社が示す仕様の限度（最大積載量など）を超える使用に起因する不具合
- ④本製品の部品およびレール資材が弊社指定の純正品以外のものを使用している場合の不具合
- ⑤認められていない改造に起因する不具合
- ⑥時の経過で発生する不具合（塗装面、メッキ面などの自然退色等）
- ⑦機能上影響のない感覚的現象（音、振動、オイルのにじみ等）
- ⑧地震、台風、水害、落雷などの天災および火災に起因する不具合や事故
- ⑨煤煙、薬品、鳥糞、塩害等に起因する不具合
- ⑩その他不測による事故
- ⑪後記4の「お客様にお守りいただく事項」を守らなかったことに起因する不具合

### 4. お客様にお守りいただく事項

弊社製品を安全快適にご使用いただくためには、お客様の正しい

使用と点検、整備が必要です。次のことを必ず守ってください。守られていない場合は保証修理をお断りすることがありますので、ご承知ください。

- ①取扱説明書に示す取り扱い方法に従って使用すること
- ②運転前点検を実施すること
- ③弊社の指定する点検、整備を実施すること
- ④弊社の指定する点検、整備の実施を示す「整備手帳」を保持すること

### 5. 保証の発効

この保証書は、お買い上げいただいた製品の販売店が保証書に製品の機体番号、登録日、販売会社等の必要事項を記入、捺印をして、顧客リストがニッカリに登録されることにより有効となりお客様に連絡します。

### 6. 保証修理の受け方

保証修理をお受けになる場合は、保証書をお買い上げの販売店またはニッカリにお持ちください。これより保証修理をいたします。提示されない場合は保証修理いたしかねます。

### 7. 保証の適用

この保証書は使用される製品のみ適用いたします。この保証書は本書に明示した期間と条件のもとに保証修理をお約束するものです。従って保証期間経過後に発生した不具合の修理は原則として有料です。ただし、保証期間経過後の不具合が使用損耗あるいは、経年変化によるものではなく、その全部または一部が弊社の責任に起因する場合は、その責任の度合に応じた適正な費用負担で修理いたします。



本社 〒704-8125 岡山県岡山市東区西大寺川口 465-1 TEL 086-943-0051 FAX 086-943-0405  
東岡山事業所 (モノラック部) 〒703-8228 岡山県岡山市中区乙多見 482-1 TEL 086-279-1291 FAX 086-279-1437

URL <https://www.nikkari.co.jp/>

※所在地や電話番号は変更になることがあります。